

ビクタービデオムービー
ご愛用のしおり

先進の個性



Victor

VideoMovie VHSC GR-C1 COMPACT VIDEO MOVIE



- ご使用前にこの“ご愛用のしおり”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかについてお確かめください。

このたびは ビデオムービーGR-C1を お買いあげいただき ありがとうございます。

特長

- 一台で撮影も再生もできるビデオムービーです。
- 本体重量わずか1.9kgの小型・軽量タイプ。
- 撮ったその場で再生できる電子ビューファインダー装備。
- 高感度低残像設計(低照度15ルクス)。
- マクロ付6倍パワーズームレンズ装備。
- アイリスロック機構付オートアイリス。
- 3電源方式(専用バッテリー、専用ACパワーアダプター、カーバッテリー)
- 撮影チェックが自動的にできるオートクイックレビュー機構。
- 約3倍速で早送り再生、巻戻し再生ができるシャトルサーチャー機構。

もくじ

	ページ
●各部の名称とはたらき	2~3
●ご使用上の注意	4~5
●システムアップについて	6
●VHSビデオカセットについて	7
●つゆつきについて	8
●付属品などのセットのしかた	
■ 電子ビューファインダーの取り付けかた/はずしかた	9
■ ハンドル(付属)の取り付けかた	10
■ 専用マイク(付属)の取り付けかた	10
■ ショルダーフレーム(別売)の取り付けかた	10
■ グリップバンドについて	11
●基本的な操作について	
■ 電源ユニットについて	12
■ 電子ビューファインダー内の情報について	13
■ ビデオカセットの入れかた	14

「本機を守るために」

電源を切っただけでも、レンズを太陽や強い照明光源に向けたり、蛍光灯、反射物などにレンズを向けたまま放置すると、撮像管に損傷をきたし、撮影できなくなることがありますので、撮影中以外は必ず、レンズキャップをかぶせてください。



このビデオムービー GR-C1は、VHS方式に基づくVHS-Cビデオ

カセット専用のビデオムービーです。

VHS-Cマークのついたすべてのコンパクトビデオカセットがご使用になれます。

●あなたがテレビ放送やレコード、録画(録音)物などから録画(録音)したものは、個人として

楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●万一本機およびビデオカセットテープの不都合により、正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。大切な録画(結婚式など)の場合は事前に試し撮りをし、正常に録画、録音できることをたしかめてください。

もくじ	ページ
■ビデオカセットの出しかた	15
■カセットテープの早送り/巻戻しについて	16
■カウンターメモリーについて	17
●専用バッテリーパックの充電のしかた	
■AA-P1での充電のしかた/BB-P1での充電のしかた	18~19
●カメラ録画を行なうときの操作	
■カメラ撮りのしかた	20~21
■本機の保護回路について	22
■電子ビューファインダー再生について	22
■カメラリハーサルのしかた	23
■上手なつなぎ撮りをするために	
●その1・録画中にバッテリーを交換する場合	24
●その2・録画済みカセットの途中から録画をする場合	25
■色温度の合わせかた	26~27
■絞りについて	28~29

もくじ	ページ
■ピントの合わせかた	30
■ズーミングについて	30
■マクロ撮影について	31
■感度アップスイッチについて	32
■三脚への取り付けかた	32
■カメラリモコンについて	33
■キャラクタージェネレーターCG-P50(別売)について	33
●再生を行なうときの操作	
■カラーテレビとの接続	34~35
■再生のしかた	36~37
●こんなときは	38
●保証とアフターサービスについて	39
●仕様	40
●関連商品のご紹介	41

各部の名称とはたらき

● パワースームスイッチ

ズームを自動でおこなうとき使います。

- Ⓧ：望遠側にズーム
- Ⓦ：広角側にズーム

● カセットホルダー

この中にVHSマークのついたコンパクトビデオカセットを入れ、録画、再生をします。

● バッテリー取りはずしボタン

バッテリーパックを取りはずすとき、このボタンを矢印の方向に引きます。

● バッテリーパック装着部

● DC入力端子

ACパワーアダプターAA-P1(別売)などを接続します。

● 映像/音声出力端子

この端子から映像信号や音声信号が出力されます。テレビに接続するとき、RFユニット(別売)RF-P1などをつなぎます。

● 停止ボタン

カセットを停止させるとき押します。

● 一時停止ボタン

再生中に押すと簡易静止画再生ができます。

● 再生ボタン

カセットを再生するとき押します。録画をするときは録画ボタンと同時に押します。

● 巻戻し/シャトルサーチボタン

停止中にこのボタンを押すとテープの巻戻しができます。再生中に押すとシャトルサーチ再生ができます。

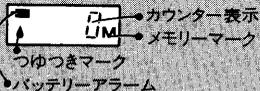
● 早送り/シャトルサーチボタン

停止中に押すとテープの早送りができます。再生中に押すとシャトルサーチ再生になります。

● カセット取出しボタン

カセットを取りだすとき押します。

● カウンター表示部


 カウンター表示
 記憶マーク
 つゆつきマーク
 バッテリーアラーム

● リセットボタン

カウンターの0にするとき押します。

● メモリーボタン

テープの頭出しに使うと便利です。

● 録画ボタン

録画をするとき、再生ボタンと同時に押します。また、停止状態のときツメのついたカセットを入れ、録画ボタンだけを押し、撮影のリハーサルができます。(録画はされません)

● リモコン端子

別売のリモコンRM-P1を接続できます。

● イヤホン端子

市販のイヤホンを接続して、音声のチェックができます。

● スタート/ストップスイッチ

スタンバイ状態(録画モードで一時停止の状態)のとき、このスイッチを押すと、録画が開始され、もう一度押すと録画をストップし、スタンバイ状態になります。

● レンズグリップ

撮影時、この部分をもって本機をささえます。

● トラッキングつまみ

再生中画面にノイズが出るとき、このつまみで調整します。

● グリップバンド

グリップに手を固定させるバンドです。

● **電子ビューファインダー接続端子**
付属の電子ビューファインダーのケーブルを接続します。

● **専用マイク**
単一指向性コンデンサーマイクです。

● **アイリスロックボタン**
このボタンを押すと、押し込み時の絞り値に固定されます(押し続けている間だけ)。離すと自動絞りに戻ります。

● **マクロスイッチ**
マクロ撮影をするとき、このスイッチを押して、レンズをマクロ領域にします。

● **フォーカスリング**
被写体にピントを合わせるリングです。

● **6倍ズームレンズ**
F=1.2
f = 8~48mm
フィルター口径=49mm

● **手動ズームレバー**
ズームを手動で行なうとき使います。

● **電源スイッチ**
電源を「入」「切」するスイッチです。一度押すと「入」、もう一度押すと「切」になります。

● **電子ビューファインダー
取りはずしボタン**
電子ビューファインダーを取りはずすとき、このボタンを押します。

● **アクセサリシュー**
付属のハンドルなどを取りつけることができます。

● **電子ビューファインダー**
狙った被写体を白黒ブラウン管でモニターできます。また、再生画像を見ることができます。ビューファインダー内部には撮影時に必要な情報が表示されます。

● **絞りボリューム**
自動絞りの値を「閉」から「自動+2絞開」まで可変できます。通常は「標準」で撮影してください。

● **感度アップスイッチ**
電子ビューファインダー内の白線が常に下にあるような暗い場所で撮影するとき、このスイッチを「高」にします。

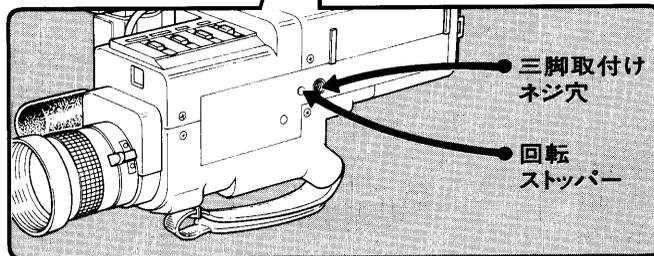
● **白バランススイッチ**
標準：フィルター切換スイッチによって設定された色温度で撮影するとき、この位置に合わせます。

設定：撮影場所の光源に色温度を正確に合わせる時、「設定」にして、白バランスセットボタンを押します。

● **白バランスセットボタン**

● **フィルター切換スイッチ**
撮影場所の光源に応じて切換えます。
☀️：太陽光に照らされているとき。(5200°K)
💡：ハロゲンランプや白熱電球で照明されているとき。(3200°K)

レンズキャップ

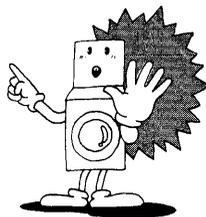


ご使用上のご注意

本機は精巧に作られた精密機械です。湿気やほこり、振動の激しい所などを避けてください。また、落下などの大きなショックを与えると、故障の原因となります。十分に注意してお取扱ってください。

■ 次のような場所で使用したり、放置しないでください。 故障の原因になります。

- 湿気やほこりの多い場所。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器の近く。
- 強い電波や磁気の発生する場所。
(スピーカーのそば、放送塔の近くなど)
- 調理台の近くなど、油煙や湯気のあたる場所。
- 振動の激しい場所や、不安定なところ。
- 極端に暑いところ。
- テレビの近く(画面がゆれたり、ブーンという音がでることがあります)。



■ 温度、湿度にご注意ください。

- 周囲温度が50℃以上の場所には放置しないでください。
- 周囲温度が40℃以上の場所で使用しないでください。
周囲温度が0℃以下の場所で使用しないでください。
- 湿度が80%以上の場所で使用しないでください。
- 長時間の保管は-20℃以上～30℃以下の場所にしてください。

直射日光のあたる車の中や暖房器の近く、お風呂場などでの使用は、サチコン管の劣化、キャビネットの変型、トランジスターの破損など、故障・機能の低下の原因となります。十分ご注意ください。



■ 本機をご使用になる前のご注意

- 本機を水でぬらさないでください。(雨の日の撮影では、特にご注意ください)
- 直射日光の下で窓をしめきった自動車の中に本機を放置しないでください。
- 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようご注意ください。また、塩分、砂などがボディに付着することがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。
- 落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。(衝撃を与えないでください)。特に運搬中のショックにご注意ください。
- 砂浜など、砂ほこりが多い場所でご使用になるときは、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。
- 録画中や再生中に電源スイッチを入れたまま電源ユニットをはずさないでください。テープを傷める原因になります。

- マイクに強いショックを与えないでください。
- ご使用にならないときはバッテリーパックをはずしておいてください。

■ レンズやビューファインダーは いつもきれいに。

指で触れて汚れたり、ホコリがついたりしたときには、カメラのブロワーでホコリを落としてから、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたまま放置すると、カビなどが発生する場合があります。

■持ち運びは付属のハンドルを持って

本機を持ち運ぶときには電子ビューファインダーをつかんだり、レンズをつかんだりしないでください。

■寒い場所から暑い場所へ移動するときは“つゆつき”にご注意。

寒いところから温度差の激しい暖かい場所へ移動すると、ビデオが“つゆつき”状態になり作動しなくなります。(詳しくは8ページ参照)

■サチコン管(撮像管)の焼きつきにご注意

本機のレンズを直接、太陽に向けたり、強い光源や反射する物に向けたり、高輝度の被写体を長時間撮り続けると、撮像管が焼きつき、損傷することがあります。焼きつきが起ると、正常な映像での撮影ができなくなります。撮影中以外は、レンズキャップを必ずかぶせてください。

電子ビューファインダーの接眼部も直接太陽に向けしないでください。

※サチコンは登録商標です。

■長時間使わなかったときは

1~2時間動作させてから撮影する。カメラを長期間(3ヵ月以上)使用しないで放置すると、撮像管の性能が一時的に劣化します。放置後の再使用時は電源を入れ、1~2時間動作させ、画像が安定してから撮影してください。

■ボディーのお手入れのご注意

ボディーの汚れは、乾いた柔かい布(ネルなど)で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に、柔かい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性のものをかけたり、化学ぞうきんなどで拭いたりすると、変質したり、塗装がはげることがありますからご注意ください。

お手入れのときは必ず、本機から電源ユニットをはずしてから行ってください。

■本機に異常がおこったら

本機から異常な音や煙がでるとき、また画がでなくなったときなどには、接続機器の電源コードをコンセントから抜き、本機の電源を切って、お買い上げの販売店か、お近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

■安全にお使いいただくために

- 本機のカバーは、はずさないでください。内部には高圧電流が発生する部分があり危険なうえ、故障の原因となります。
- 雷が近いときは、接続機器の電源コードを抜いてください。
- 本機の内部に水、金属や燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。

■本機は日本国内用に設計されています。

放送規格の異なる外国での再生はできません。電源、電圧の異なる外国でのカメラ撮影のときは、バッテリーパック**NB-P5/P6**をお使いください。バッテリーパックの充電は、ユニバーサル電源仕様のバッテリーチャージャー**BB-P1**をお使いください。

システムアップについて

本機の付属品、関連商品(別売)を活用するとビデオムービーの楽しさが倍増します。

○内は参照ページ数です。

イヤホン(市販)

カメラリモコンRM-P1 ③③ ¥1,000(別売)

カメラ撮影時の録画のスタート/ストップができます。

ビデオカセットテープTC-20SHG ⑦

¥1,900(別売)

1本で20分間録画再生ができます。

カセットアダプターC-P3 ⑦

(電動式) ¥10,000(別売)

カセットアダプターC-P2 ⑦

¥9,000(別売)

TC-20SHGを、VHS方式ビデオカセットで使用するためのアダプターです。

A/Vケーブル(付属) ③⑤

A/V入力端子付テレビとの接続、ダビング時の接続に使用します。

A/V延長ケーブルVC-P1 ③⑤

¥2,500(別売)

A/Vケーブルと接続して使用する延長ケーブルです。

RFユニットRF-P1 ③④③⑤

¥10,000(別売)
一般のテレビで再生するとき使用します。

キャラクタージェネレーターCG-P50 ③③

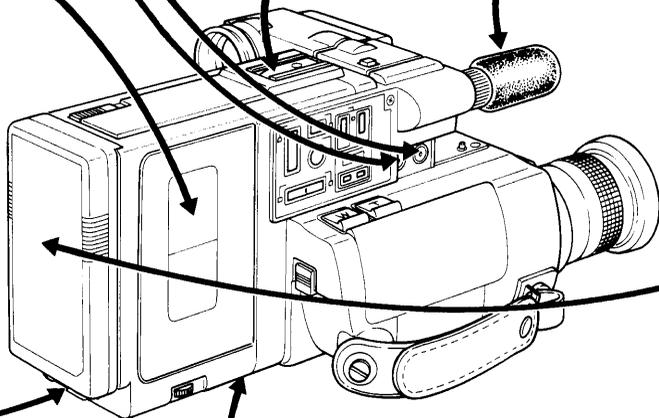
¥19,800(別売)

本機に接続して、タイトル・日付・ラップタイムなどがインサートできます。

ハンドル(付属) ⑩

本機を持ち運ぶとき、シューアダプターに取りつけます。

専用マイク(付属) ⑩



ショルダーフレームSF-P1 ⑩ ¥5,000(別売)

本機を肩にかけて使用するとき取りつけます。

バッテリーパックNB-P5 ⑫⑬⑭⑮

¥5,000(別売)

バッテリーパックNB-P6 ⑫⑬⑭⑮

¥8,000(別売)

屋外でのカメラ撮影をするときに行います。

カーバッテリーコードAP-P1 ⑫

¥7,000(別売)

車のバッテリーを本機の電源として使用するときに使います。

ACパワーアダプターAA-P1 ⑫⑬⑭⑮

¥19,500(別売)

本機の電源およびバッテリーパックの充電に使用します。家庭用100V電源コンセントに接続します。

バッテリーチャージャーBB-P1 ⑬⑭⑮

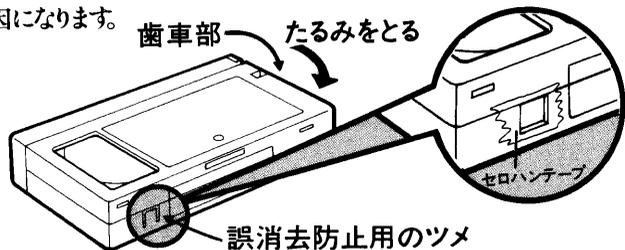
¥18,000(別売)

バッテリーパックの充電に使用します。ユニバーサル電源ですので、海外旅行中にもご使用いただけます。

VHSビデオカセットについて

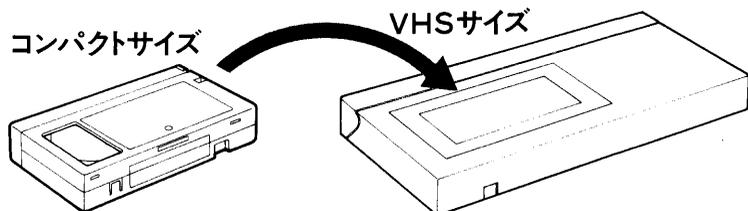
6~7

- 本機には **VHS** マークのついたコンパクトビデオカセットをご使用ください。
- 録画ずみのカセットに新しく録画をすると、前の画と音は自動的に消えます。
- ビデオカセットは裏がえしでは使えません。
- テープを走行させないでビデオカセットの出し入れをくりかえさないでください。テープがたるんでテープを傷める原因になります。
- ご使用の前にテープのたるみがないことを確かめてからご使用ください。たるみがある場合はカセットの歯車部に矢印の方向にまわしてください。
- カセットには誤消去防止用のツメがついています。消したくないカセットはツメを折ってください。またツメの折られているカセットでも、ツメの部分にセロハンテープを貼れば再び録画することができます。
- カセットのフタは必要の時以外はあけないでください。テープを傷める原因になります。



VHS カセットアダプターのご紹介

- **VHS** コンパクトビデオカセットを **VHS** ビデオにご使用になる場合は、別売のVHSカセットアダプターをご利用ください。
- VHSカセットアダプターは **VHS** コンパクトビデオカセットを **VHS** ビデオカセットの大きさに変えるアダプターです。



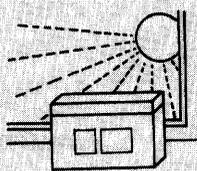
VHS コンパクトビデオカセット

VHS カセットアダプター

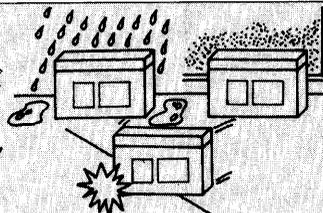
- **VHS** コンパクトビデオカセットを **VHS** カセットアダプターの中にセットすれば、**VHS** マークのついたビデオカセットレコーダーで録画や再生ができます。
- ご使用方法については、カセットアダプターの「ご愛用のしおり」をご覧ください。

ビデオカセットを保管するときのご注意

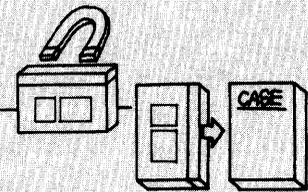
- 直射日光のあたる場所やストーブなどのそばは避けてください。



- 湿気の多いところやホコリ、チリのある場所は避けてください。
- 落したり、強い振動、ショックをあたえないでください。



- 強い磁気の発生するところ（モーター、トランス、磁石）のそばには置かないでください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。



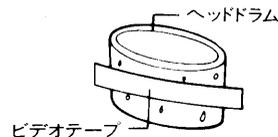
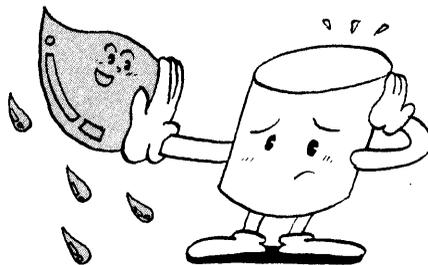
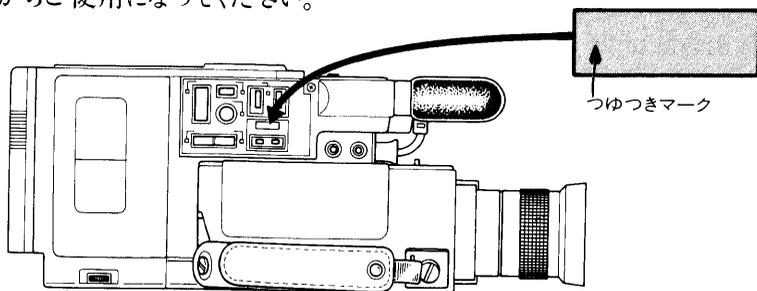
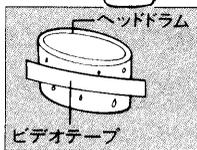
つゆつきについて

■“つゆつき”について……覚えておいてください。

■“つゆつき”とは

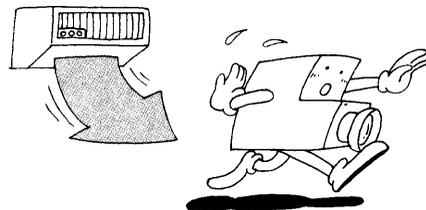
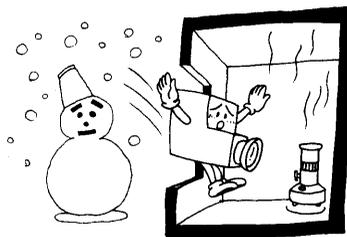
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を“つゆつき”（露付または結露）といいます。

ビデオの心臓部であるヘッドドラムのまわりに水滴がつき、ビデオテープが貼りついてテープを傷めてしまいます。“つゆつき”状態になるとカウンター表示部に“つゆつき”マークが表示され、本機は停止状態になり、再生や録画ができません。数時間待つてつゆつきマークが消えてからご使用になってください。



■“つゆつき”はこのようにときにおこります。

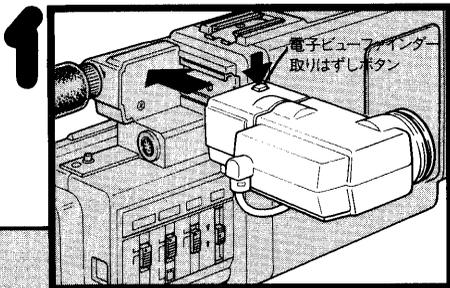
- 本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。



電子ビューファインダーの取り付けかた/はずしかた 8~9

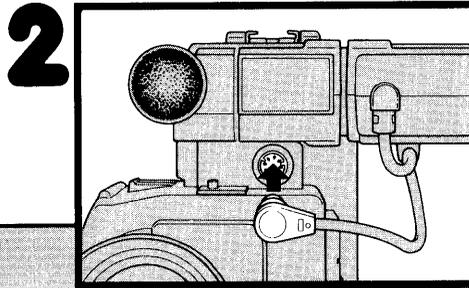
電子ビューファインダーを取りつけたり、取りはずすときは、電源を入れないでください。

《取り付けかた》



電子ビューファインダー取り
はずしボタンを押しながら

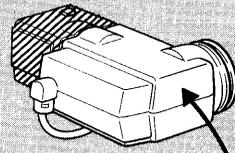
差し込む



ケーブルをビューファインダー接
続端子に

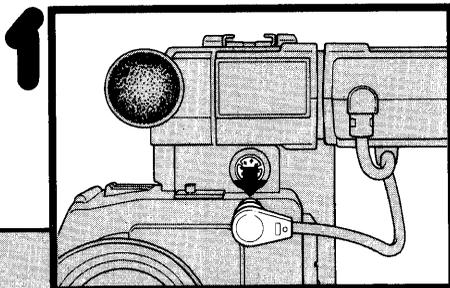
接続する

電子ビューファインダーを取りつけるときや、はずすときは電子ビューファインダーの接眼部をもたないでください。図の斜線部分をもってください。



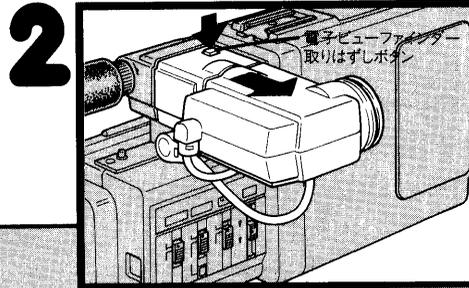
接眼部は持たないでください。

《はずしかた》



ケーブルをビューファインダー
接続端子から

ぬく

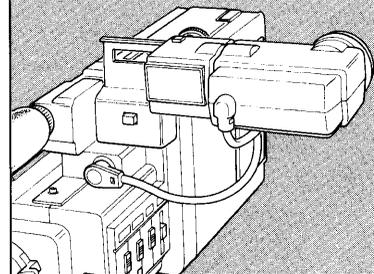


電子ビューファインダー取りはずしボ
タンを押して電子ビューファインダー
を矢印の方向
にずらして

はずす

左眼対応のしかた

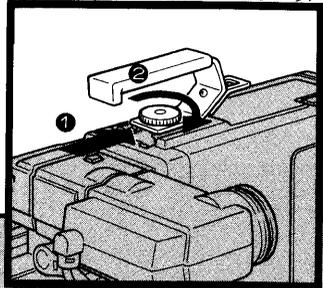
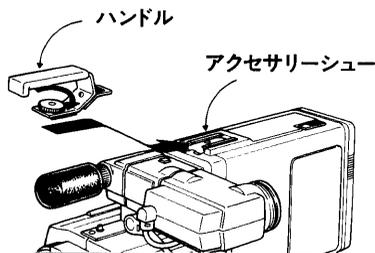
ビューファインダーアダプターLA-P1(別売)を取りつけて、ビューファインダーを左眼に合わせるすることができます。



くわしくはLA-P1の「取扱説明書」をご覧ください。

ハンドル(付属)の取り付けかた

本機を持ち運ぶときには付属のハンドルを取りつくと便利です。



①ハンドルを
アクセサリシューに

差し込む

②ねじをしめて

固定する

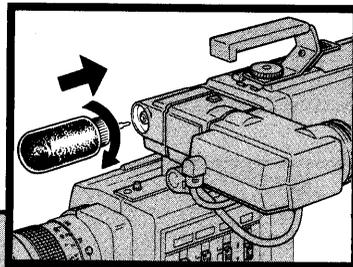
専用マイク(付属)の取り付けかた

撮影前に本機付属の専用マイクを取りつけてください。

ご注意

- 専用マイク取りはずし時はマイクの根元を持ってください。
- 専用マイクで収録した音声には多少テープ走行音が入りますのでクリアな音声で収録したい場合は外部マイクの使用をおすすめします。

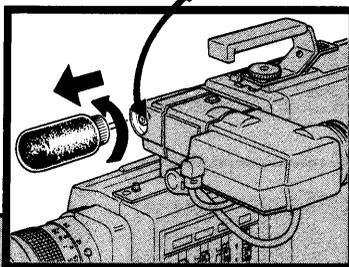
《専用マイクの取り付けかた》



◎←の部分を正しく、合わせ
カチッと音がするまで奥に
押し、右にまわして

接続する

《外部マイクを
使う時は》



専用マイクを左にまわして
から

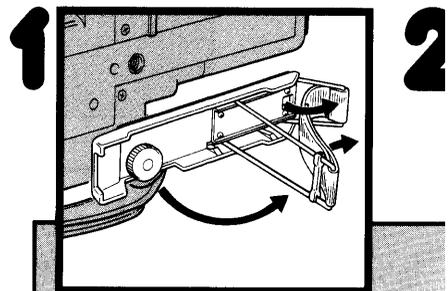
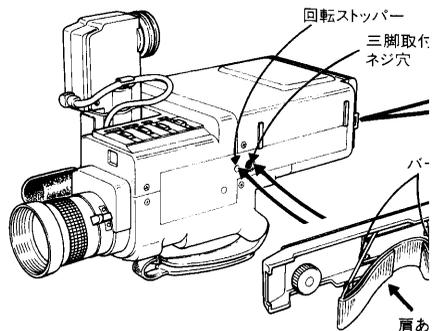
抜きとる

外部マイクをマイク端子に

接続する

ショルダーフ

本機を肩にかけて撮影するときは、別売を取りつくと便利です。



ショルダーフレームのバーを
起こし、短い方のバーを
カチッと音がするまで矢印
の方向へたおす。肩あての
マジックテープ部をはがし、
長さを

調整する

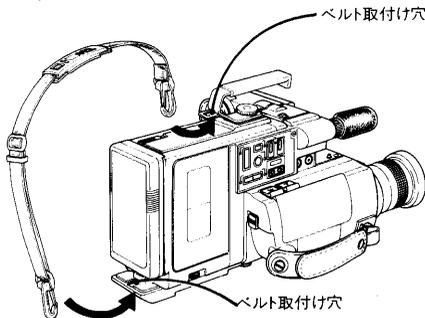
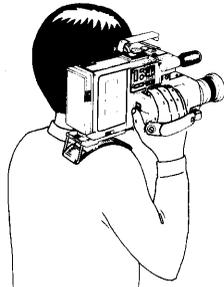
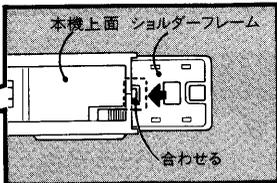
レーム(別売)の取り付けかた

グリップバンドについて

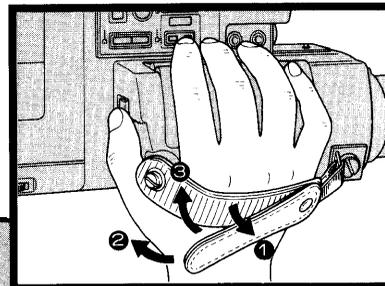
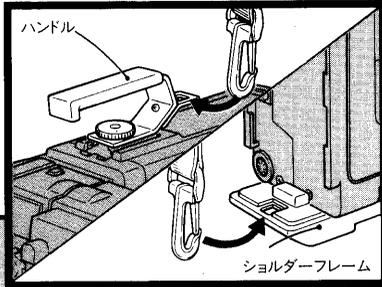
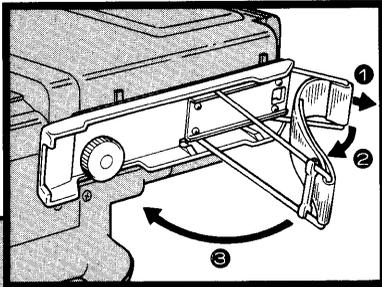
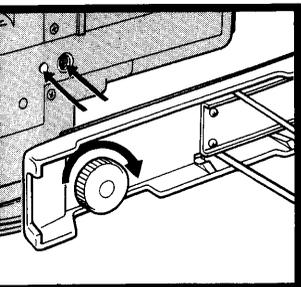
のショルダーフレームSF-P1

ショルダーフレームを取りつけた時の撮影スタイルです。

本機を持ち運ぶときにはショルダーフレーム付属のベルトを取りつけると便利です。



《ショルダーフレームの折りたたみかた》



ショルダーフレームの回転ストッパーと固定ネジを本機の三脚取付けネジ穴と回転ストッパーに合わせねじをしめて

固定する

ショルダーフレームの短い方のバーを
 ①の矢印の方向に引っばって
 ②の矢印の方向にたおして折りたたむ
 長い方のバーを③の方にたおして折りたたむ

ハンドルとショルダーフレームのベルト取付け穴に、ショルダーベルトのフックを(平らな方を内側にに向けて)

かける

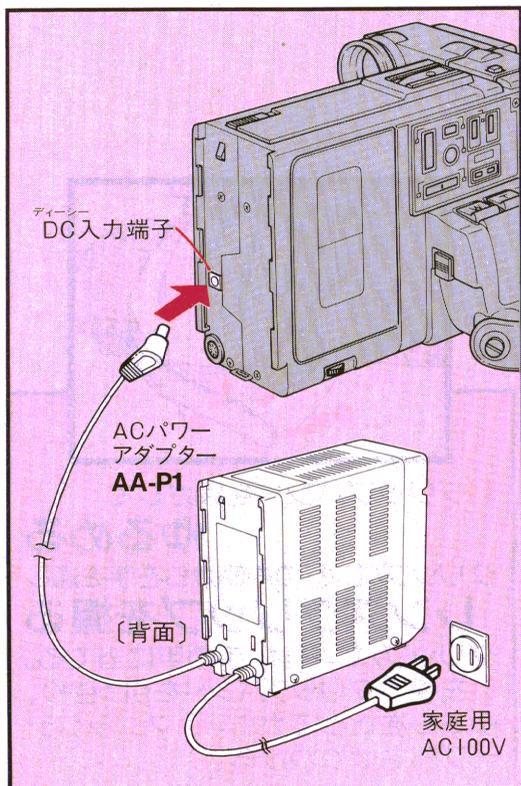
①グリップバンドをはがして
ゆるめる
 グリップバンドの内側から右手を通し
レンズグリップを握る
 グリップバンドは、手の甲に当てる。
 ②左手でグリップバンドを引っ張り、ゆるみをとってから、③マジックテープ部をはりつける。

電源ユニットについて

本機は便利な3電源方式です。使う場所にあわせて電源ユニットをお選びください。
いずれかの電源を接続しないと、本機は動作しません。

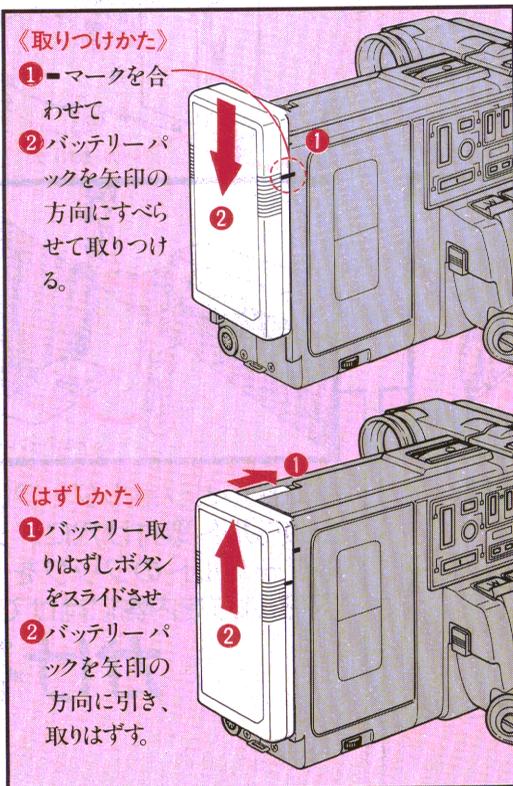
室内で使うとき

別売のACパワーアダプターAA-P1を使います。



屋外で使うとき

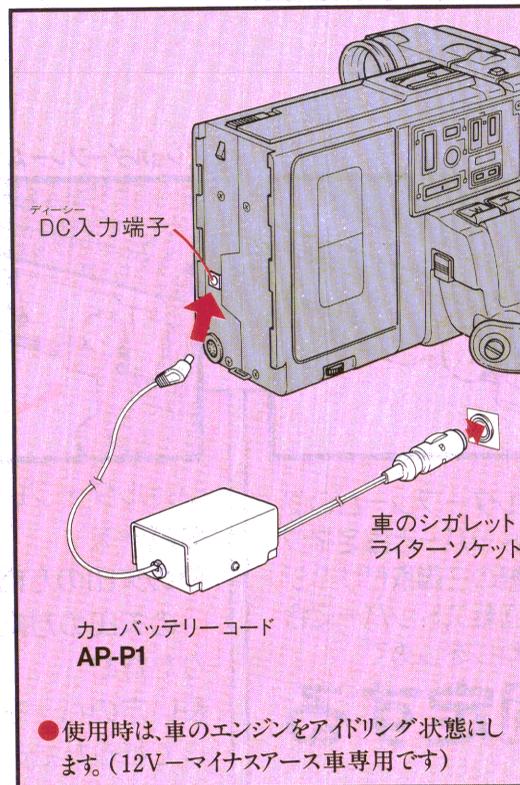
別売のバッテリーパックNB-P5/NB-P6を使います。



本機にはACパワーアダプターAA-P1、バッテリーパックNB-P5/NB-P6、カーバッテリーコードAP-P1以外のご使用にならないでください。また、これらの電源ユニットは他の機器には絶対にご使用にならないでください。

自動車のバッテリーで使うとき

別売のカーバッテリーコードAP-P1を使います。



電子ビューファインダー内の情報について

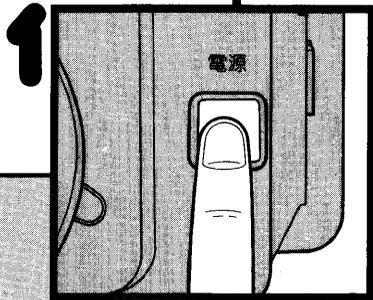
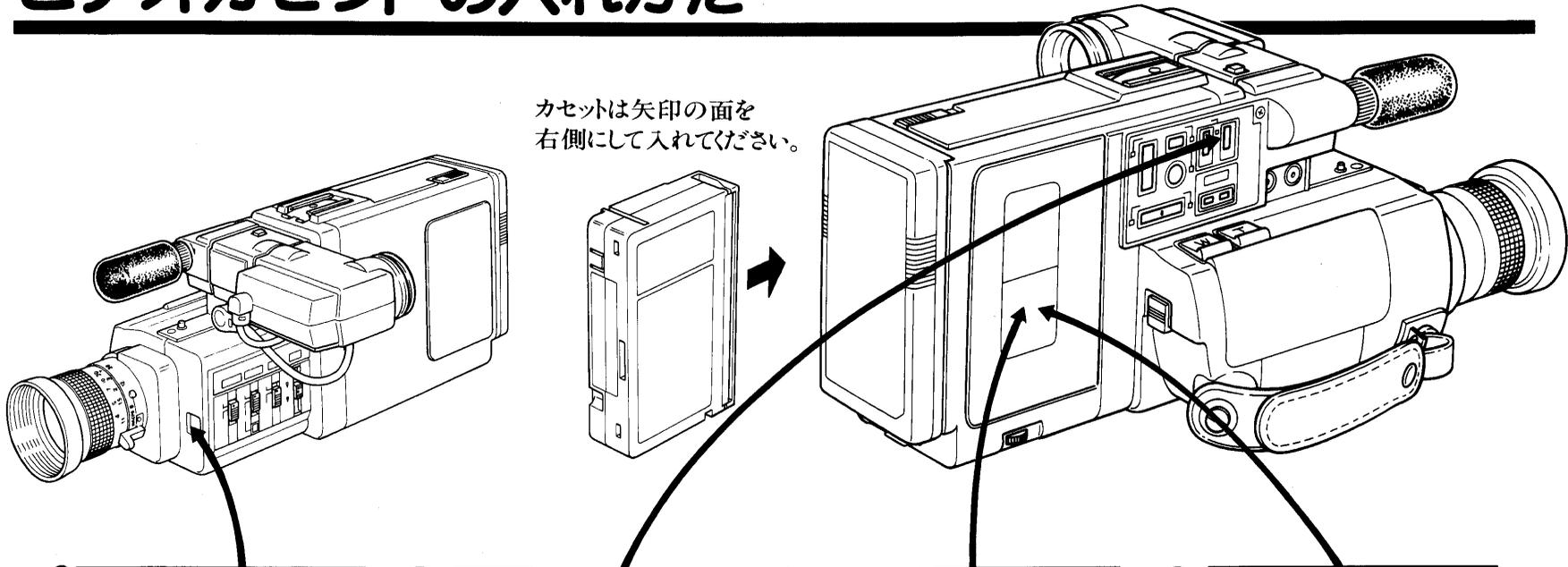
12~13

電子ビューファインダー内には撮影時に必要な8種類の情報が表示されます。

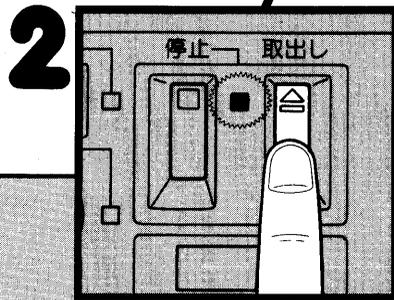
情報内容	録画スタンバイ	録画中	光量表示	バッテリーアラーム	テープエンドアラーム	感度アップ	白バランス	フィルター
表示パターン								
表示パターンの動きおよびそのときのビデオムービーの状態	録画スタンバイ状態(録画と再生のボタンが押されて一時停止している状態)にあるとき。また、暗いところ(露出不足)では白線が下になります。	スタート/ストップスイッチをスタートさせると白線が短くなり、点滅し、テープが走行していることを知らせます。	白線が下部に表示されたときは光量不足です。感度アップするか照明をしてください。 適正光量のときは白線は中央に表示されます。 絞りボリュームを“逆光”側にすると、白線は上にあがります。 絞りボリュームが“閉”側のときは、白線が下になります。	録画中バッテリー容量がなくなると画面左端が白く点滅します。 また、カウンター表示部にも ← マークが表示され、点滅します。 カウンター表示部バッテリーアラーム表示が出たら、充電されたバッテリーと交換してください。	テープの残量が1分前後になると、間欠点滅(早い点滅)します。	感度アップスイッチが“高”のとき、左下に白い四角が表示されます。 光量不足以外のとき、この表示が出ている場合はスイッチを“標準”に切り替えてから撮影してください。	白バランススイッチを“設定”にすると左上に白い四角が点滅します。 白バランスセットボタンを押して白バランスをとると、点滅から点灯に変わります。“設定”にしても点滅しないときは、前にとった白バランスが記憶されていることを示します。 (3時間まで記憶する)	フィルター切換スイッチが のとき「赤色」で点灯します。 太陽光下での撮影のときは、必ずフィルター切換スイッチを に切り替えてください。 切り換えると「緑色」に点灯します。

ビデオカセットの入れかた

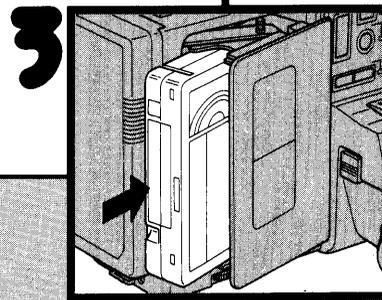
カセットは矢印の面を
右側にして入れてください。



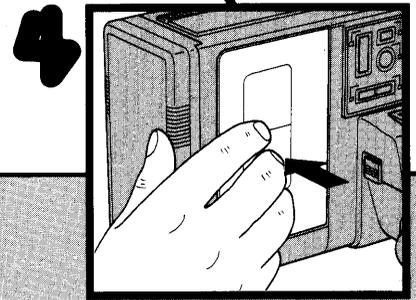
電源スイッチを押して
電源を **入れる**



カセット取出しボタンを
押す
(カセットホルダーが開きます)



カセットを正しく
入れる



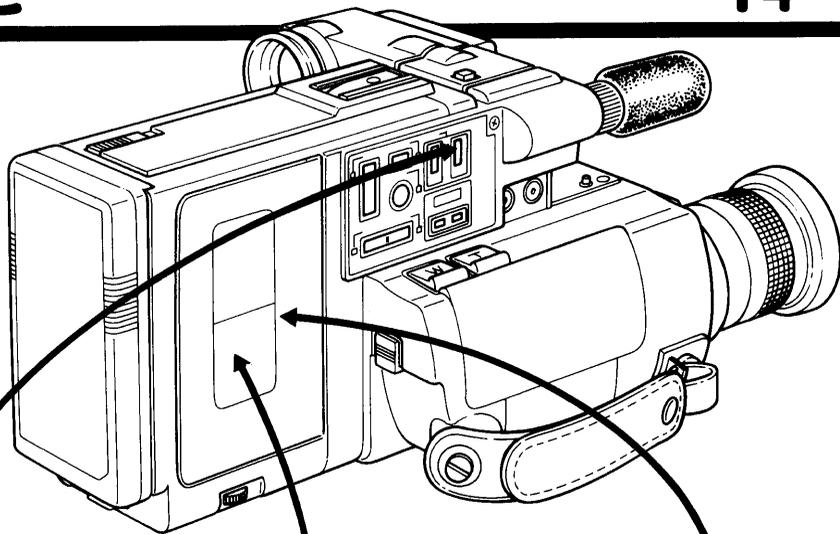
カセットホルダーを
閉める

テープのたるみをとって正しい方向
に入れてください。

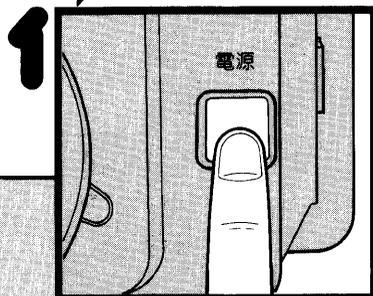
ビデオカセットの出しかた

14~15

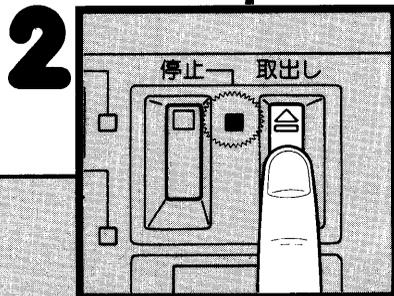
テープを走行させないでビデオカセットの出し入れをくりかえさないでください。テープがたるんでテープを傷める原因になります。



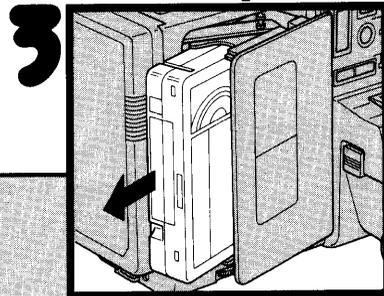
本機が停止していることをたしかめます。



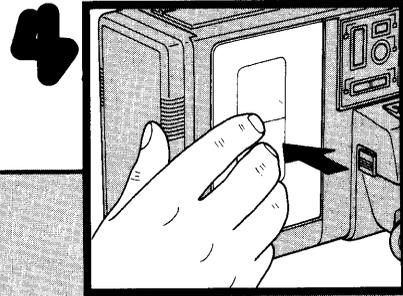
電源スイッチを押して
電源を **入れる**



カセット取出しボタン
を **押す**
(カセットホルダーが開きます)



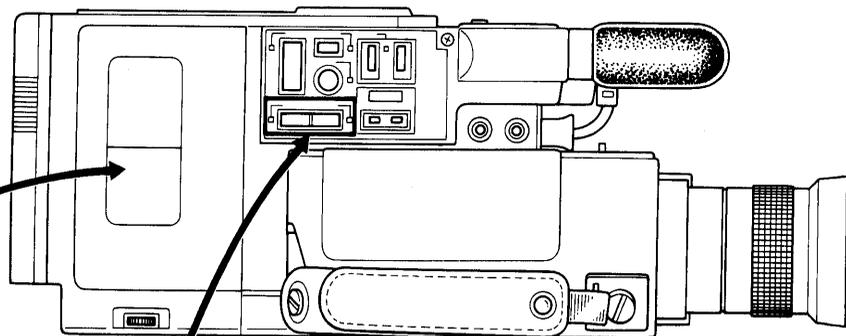
カセットを
取りだす



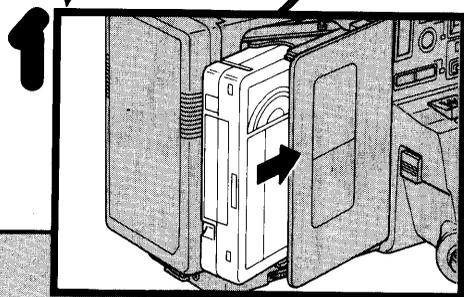
カセットホルダーを
閉める

本機をご使用にならない時は電源スイッチを押して電源を切ってください。

カセットテープの早送り/巻戻しについて

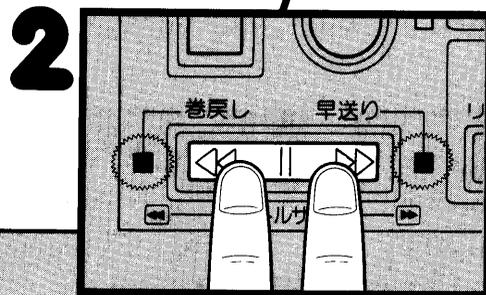


電源が入っている
のを確かめる。



カセットを

入れる



早送りボタンまたは
巻戻しボタンを

押す

再生中に早送り/巻戻しボタンを押すと、シャトルサーチ再生になりますのでご注意ください。

- テープの最後まで早送りすると、自動的に停止します。
- テープの最初まで巻戻しすると、自動的に停止します。
- カウンターメモリーが働いている場合はテープは途中で止まります。

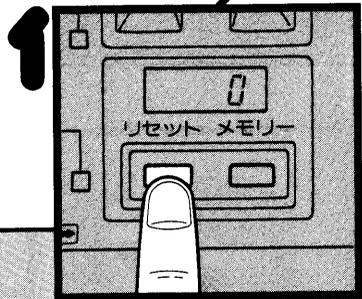
カウンターメモリーについて

16~17

本機にはテープの頭出しに便利なカウンターメモリー機構が内蔵されています。
カウンターメモリーをセットすると、早送り、巻戻し中にカウンターがメモリーボタンを押した位置
近くになると自動的に停止します。

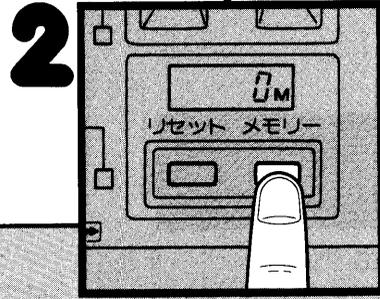
ご注意

- 電源ユニットをはずすと、カウンター表示部の表示は消えます。カウンターメモリーも解除されます。
- リセットボタンを押さないで(カウンターを0にしない)メモリーボタンを押すと、押した時のカウンターの数字がメモリーされ、早送り、巻戻し時にその数字で停止しますのでご注意ください。

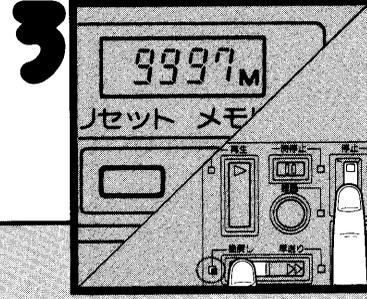


1 リセットボタンを押して、カウンターを **0** にする

この時メモリーマークも消えます。



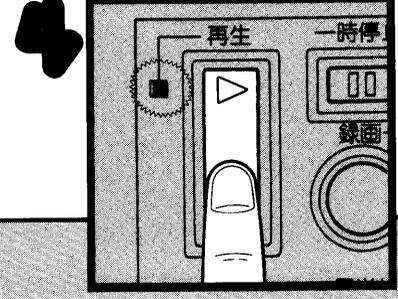
2 メモリーボタンを押して **M** を出す



3 録画や再生が終わったら停止ボタンを押してから巻戻しボタンを押す。カウンターが0付近になると自動的に

停止する

早送り時にも動作します。



4 再生ボタンを **押す**

メモリーを解除するときはメモリーボタンをもう一度押すかリセットボタンを押します。

専用バッテリーパックの充電のしかた

バッテリーパックを充電するときは、専用のバッテリーチャージャーBB-P1(別売)またはACパワーアダプターAA-P1(別売)をご利用ください。

バッテリーは充電されていない状態で出荷しています。
あらかじめ充電してから使用してください。

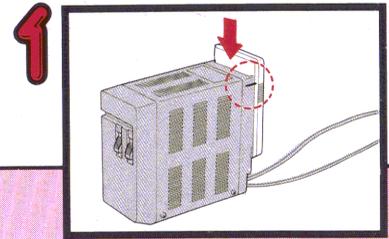
- 危険ですので、次のことにご注意ください。
 1. 火中に投入しないでください。
 2. 端子をショートさせないでください。
 3. 分解や改造をしないでください。
 4. 専用の充電器以外を使用しないでください。
- こわれたり、寿命が短くなりますので次のことにご注意ください。
 1. 強い衝撃を与えたり、落下させないでください。
 2. 充電後、再び充電をくり返すことは避けてください。
- 充電後や使用後バッテリーパックが暖かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーには寿命があります。

正常に充電したバッテリーで使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーの寿命が来ていますので、新しいバッテリーをお求めください。
- バッテリーは化学反応を利用しています。その特性に合わせて上手に使ってください。
 1. 充電は10℃～35℃の温度範囲で行なってください。低温で充電すると化学反応がにぶくなりバッテリーを劣化させます。また高温で充電しますと十分な充電ができません。
 2. 温度が上がらない乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置くと寿命が短くなります。又自己放電も多くなります。
 3. 長期間放置しますと自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。(使い終わったままの状態でも多少電流が流れます)
 4. 使用しない時は機器や充電器から取りはずしておいてください。ビデオムービーに取りつけた状態では電源スイッチ「切」の状態でも多少電流が流れます。
- バッテリー充電時間の目安……NB-P5/NB-P6ともに60分。

※充電時間は周囲の温度やバッテリーの状態によって異なります。
- バッテリーでカメラ撮りをするときの本機が動作する時間の目安
NB-P5の場合……連続録画時間約30分
NB-P6の場合……連続録画時間約45分
※連続録画時間とは本機を録画状態にして、そのままの状態でも連続録画した場合の時間をいいます。
- 録画スタンバイ時間やズーム操作によって、録画時間が左右されます。屋外で撮影する場合は予備のバッテリーパックをご用意ください。

AA-P1での 充電のしかた

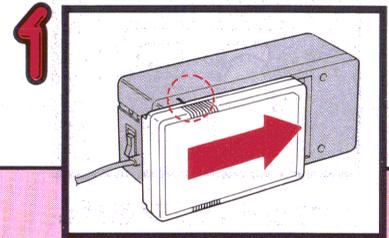
AA-P1にビデオムービーを接続しているときは、ビデオムービーの電源を“切”にします。



—マークを **合わせて**
バッテリーパックを矢印
の方向に **すべらす**

BB-P1での 充電のしかた

BB-P1はユニバーサル仕様ですので海外でもお使いいただけます。

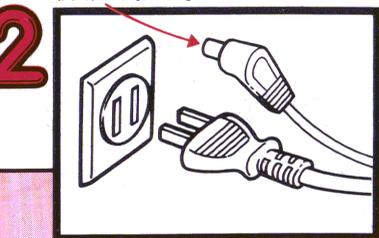


—マークを **合わせて**
バッテリーパックを矢印
の方向に **すべらす**

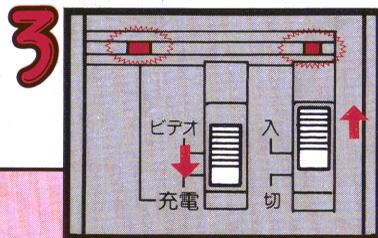
- 海外でご使用になる場合は、国によってコンセントの形状が異なりますので、その国にあった電源コンセント用変換プラグが必要で。詳しくはお買い上げ販売店もしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

さい。

充電中はビデオムービーの電源として使用できません。

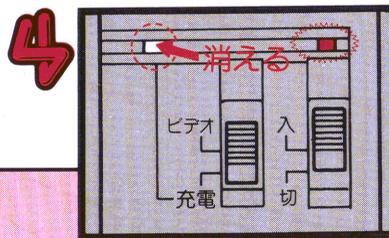


電源コードをコンセントに **つなぐ**



電源スイッチを「入」にし
ビデオ/充電切換スイッチを「充電」にする

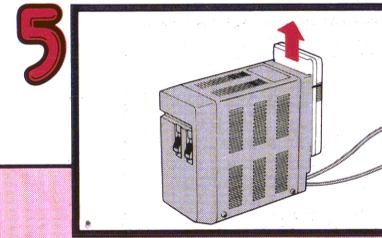
(電源ランプと充電ランプが点灯する)



充電が完了すると充電ランプが **消える**

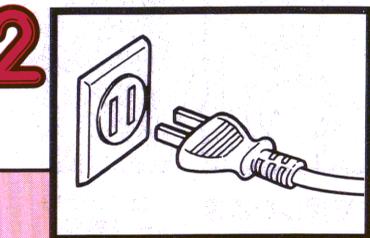
(充電が終わったらスイッチを切る)

充電ランプが消えても電源スイッチが入っていると、少電流で補充電をおこないます。

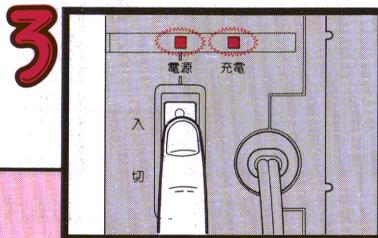


矢印の方向にひいて
バッテリーパックを

はずす

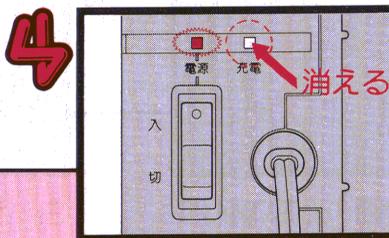


電源コードをコンセントに **つなぐ**



電源スイッチを **押す**

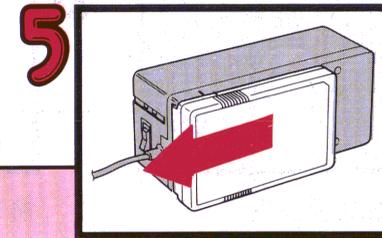
(電源ランプと充電ランプが点灯する)



充電が完了すると充電ランプが **消える**

(充電が終わったらスイッチを切る)

充電ランプが消えても電源スイッチが入っていると、少電流で補充電をおこないます。



矢印の方向にひいて
バッテリーパックを

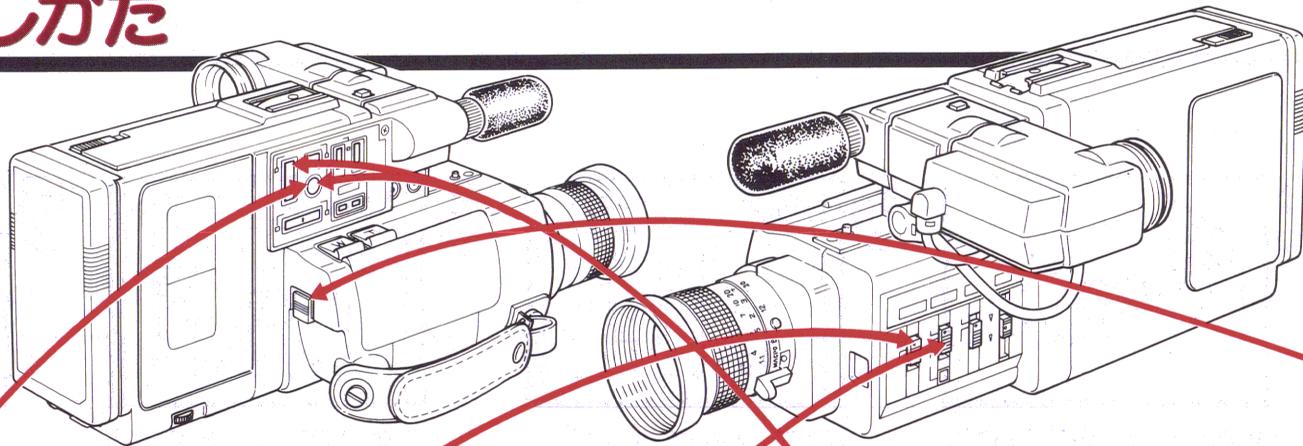
はずす

カメラ撮りのしかた

準備

1

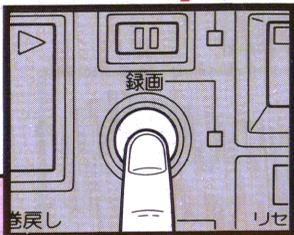
- 電源スイッチを押して電源を入れる
- ツメのついたカセットテープを正しく入れる



電子ビューファインダーの表示



2



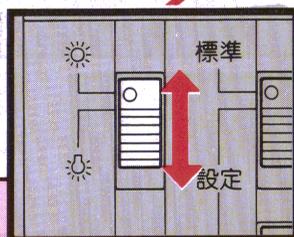
録画ボタンを

押す

(ビューファインダーが映り、録画状態がチェックできる。)

カメラリハーサルについては23ページをご覧ください。

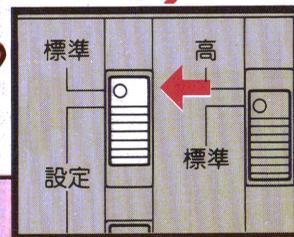
3



撮影場所の光源に応じて
フィルタースイッチを
切替える

(くわしくは26ページ参照)

4

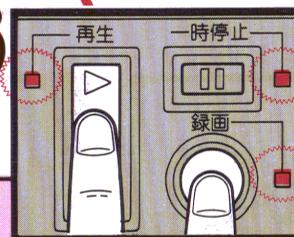


白バランススイッチを
"標準"にする

色温度を撮影場所の光源に正確に合わせたいときは"設定"にして白バランスセットボタンを数秒程押す。
(くわしくは26～27ページ参照)

調整が終わったら停止ボタンを押す。

5



録画ボタンを押したまま
再生ボタンを

押す

(録画/再生/一時停止の各ボタンランプが点灯する)

この状態を録画スタンバイ状態という。

電子ビューファインダー内の各表示をチェックする

(くわしくは13ページ参照)

5分以上撮影を中断するときは

再び録画を始めるときは

録画を中止するときは

電源スイッチを押し
て電源を切る

- 再び電源を入れる
- 電子ビューファインダー内の各表示をチェックする
- 6~7の操作を行う

停止ボタンを押してカセットテープをストップさせてから電源を切る

ご注意

テープエンドアラーム

早い点滅



■テープ残量が1分前後になると、短い白線が間欠点滅します。

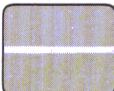
■録画スタンバイ状態が約5分以上続くと、テープ保護のため、自動的に停止状態になります。

■カセットテープの途中まで録画して停止状態になったときや、停止ボタンを押して停止状態にした後、5の操作をする前に録画した終りの部分が数秒消されて、新しい映像が録画されますのでご注意ください。このような時は、25ページの操作をしてください。

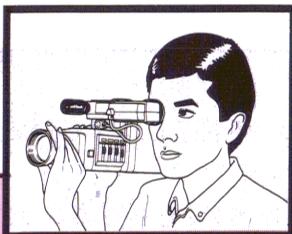
録画時



スタンバイ時



6

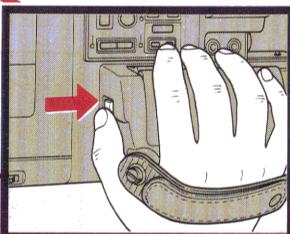


電子ビューファインダーをのぞき

ピント、構図を決める

(絞り/ピント合わせ/ズーム)については28~31ページ参照。

7

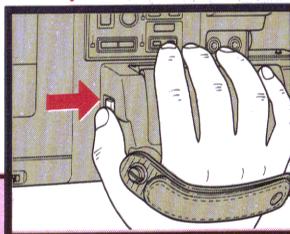


スタート/ストップスイッチを**押す**

(ビューファインダー上の白線が短くなり点滅していることを必ず確かめる。白線が長いままだったり、点滅しないときはテープが走行していないので、再度1から確かめてください。)

これで録画が始まります

8



スタート/ストップスイッチを**再度押す**

クイックレビューについて

前に撮った画像がビューファインダーに一瞬(1秒位)逆転再生され、確実に録画されていることが確認できます。

録画スタンバイ状態

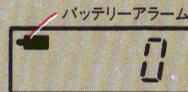
●録画を一時中断するときは

7~8の操作をくりかえすとつなぎ撮りができます。

本機でスタート/ストップスイッチを使ってつなぎ撮りをしたとき、再生時に画面と画面のつなぎ目で画像が多少乱れますが故障ではありません。

バッテリーアラームについて

バッテリー容量が終わりに近くなると電子ビューファインダー内の画面左端が点滅します。また、カウンタ表示部にも



マークが表われ、点滅します。

充電されたバッテリーパックに交換してください。

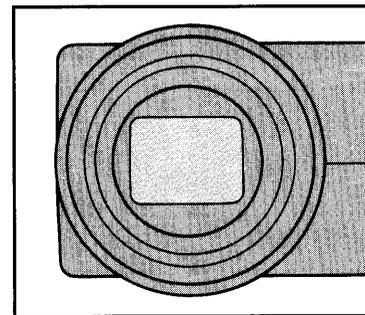
(くわしくは24ページをご覧ください)

本機の保護回路について

本機には保護回路が内蔵されていますので次のような動作を自動的にします。

- バッテリーパック駆動中のパワーシャットオフ回路について
バッテリーパック駆動中、バッテリーアラーム表示(■)が点滅後さらにバッテリーパックで使用し続けるとバッテリーパック保護のため、自動的に停止状態になり、電源が切れます。この場合は充電されたバッテリーパックと交換してください。
- パワーセーブ回路について
停止状態が約5分以上続くとき、無駄な電力の消費を防ぐため、パワーセーブ回路が働き、自動的に電源が切れます。
- テープ保護回路について
録画スタンバイ状態や、簡易静止画再生が約5分以上続くとき、本機はテープ保護のため、自動的に停止状態になります。

電子ビューファインダー再生について



- 本機をストップさせ、見たいところまで巻戻す
- 再生ボタンを押すと、ビューファインダーでいま撮影した画像が見られる

■ビューファインダー再生中に

- 一時停止ボタンを押すと、簡易静止画再生ができます。
- 早送り/巻戻しボタンを押すとシャトルサーチができます。

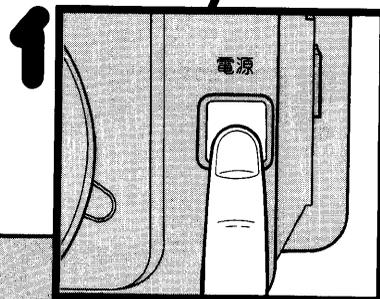
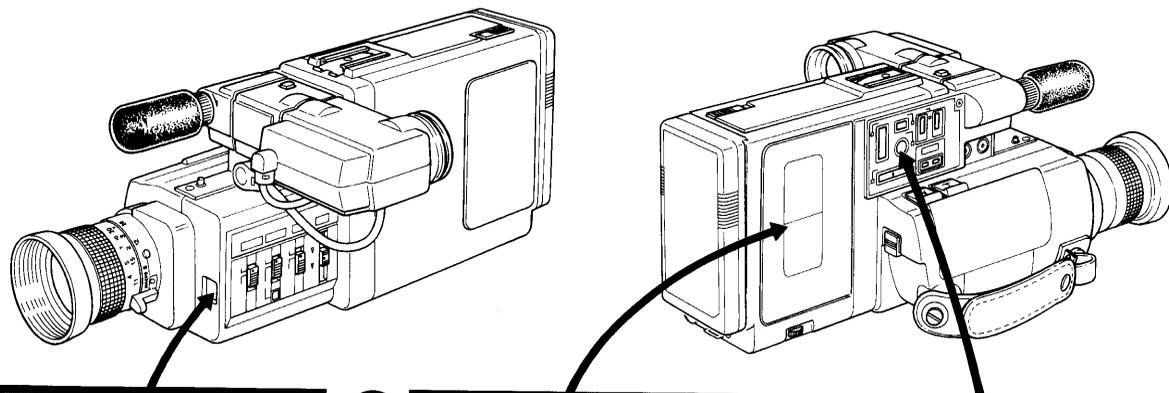
■テレビで再生する場合は

34～37ページの“再生のしかた”をご覧ください。

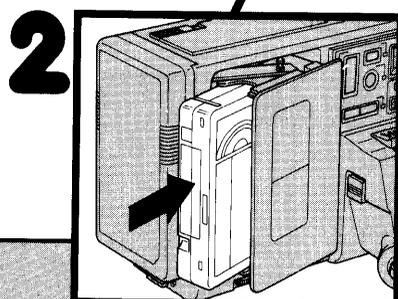
カメラリハーサルのかた

22~23

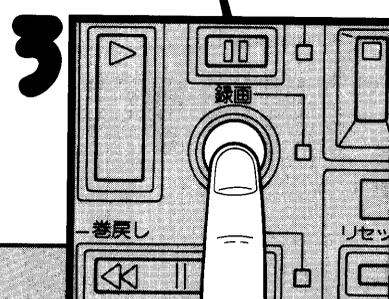
本機は、録画状態にしなくても停止状態でカメラリハーサルができます。



電源スイッチを押して
電源を **入れる**



ツメのついたカセット
を正しく **入れる**



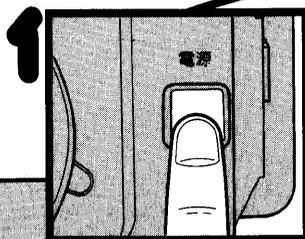
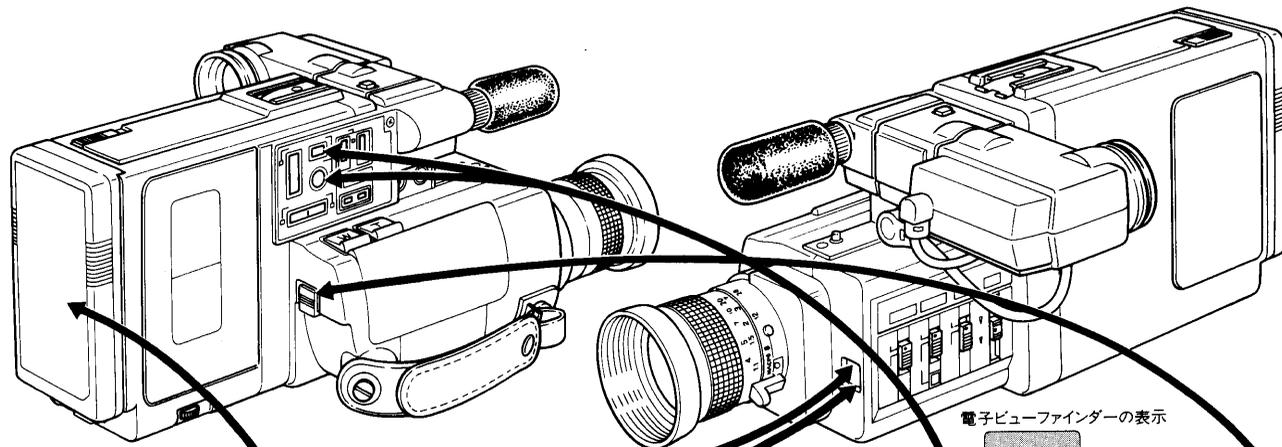
録画ボタンを **押す**

(ビューファインダーが映り、カメ
ラリハーサルができる。)

ご注意

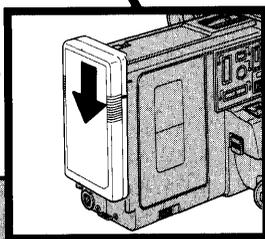
- ツメのついたカセットを入れないとカメラリハーサルができません。
- 早送り、巻戻し時はカメラリハーサルができません。
- カメラリハーサル時はパワーセーブ回路は働きません。
- カメラリハーサル後スタート/ストップスイッチを押して録画ボタンを押したまま再生ボタンを押すと録画スタンバイ状態にならずすぐに録画開始することがあります。カメラリハーサル後は一度停止ボタンを押してください。

上手なつなぎ撮りをするために(その1・録画中にバッテリーを交換する場合)



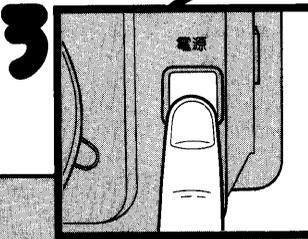
録画中電子ビューファインダー内の画面左端が点滅したりカウンター表示部のバッテリーアラームが点滅したら、電源スイッチを押して電源を

切る



充電されたバッテリーパックを

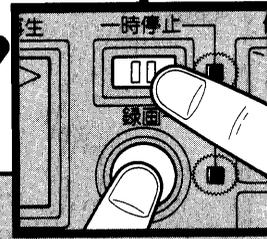
交換する



再度、電源スイッチを押して電源を

入れる

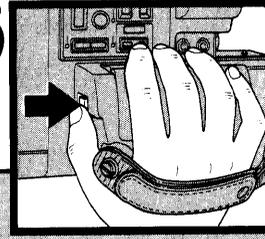
(電源を入れると本機は簡易静止画再生状態になります。)



録画ボタンを押したまま一時停止ボタンを

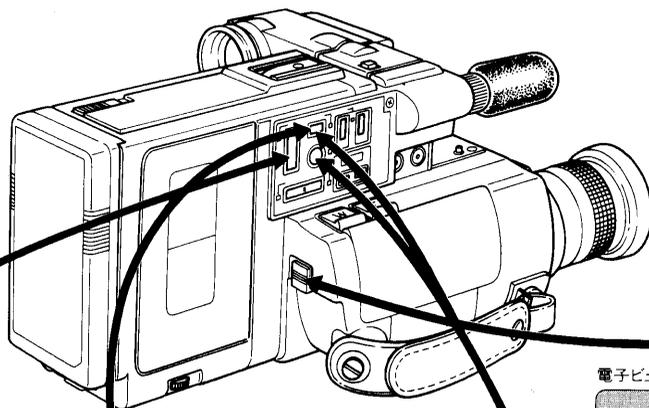
押す

(本機は録画スタンバイ状態になります。)

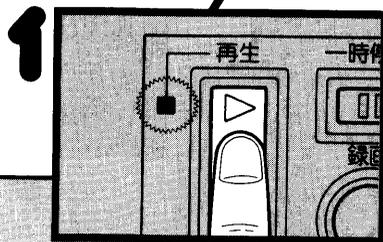
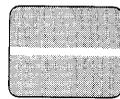


スタート/ストップスイッチを押すと録画が

スタートする



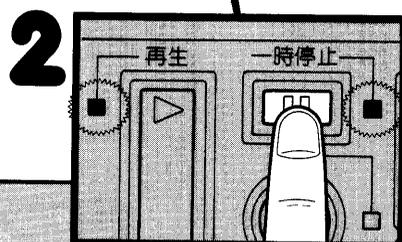
電子ビューファインダーの表示



つなぎ撮りをしたいところまで

再生する

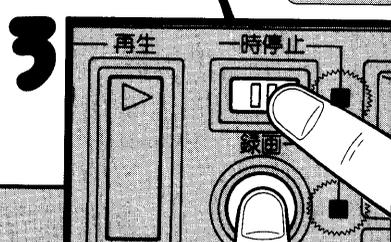
(シャトルサーチを使うと便利です)



つなぎ撮りをしたいところで一時停止ボタンを

押す

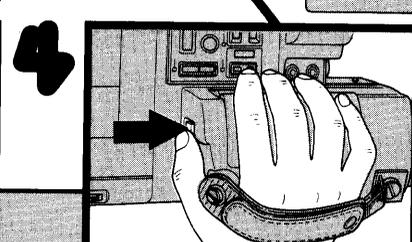
(簡易静止画再生状態になります)



録画ボタンを押したまま一時停止ボタンを

押す

録画スタンバイ状態



スタート/ストップスイッチを押すと録画が

スタートする

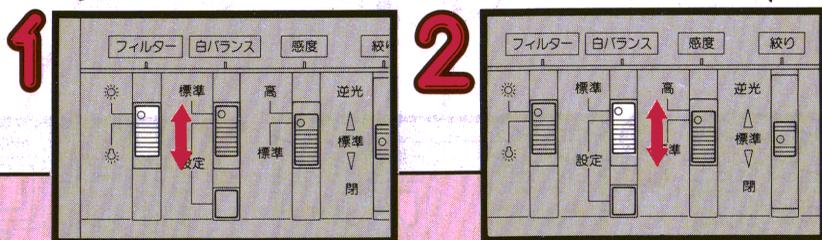
色温度の合わせかた(フィルタースイッチ/白バランススイッチについて)

色温度とは?

- ◆ローソクの光は赤く、蛍光灯は白く、曇った日の風景は青い、というように光は人工光源の種類や同じ太陽光でも天候、時刻によって色の差があります。この違いを示すモノサシとして色温度という単位K(ケルビン)を使います。
- ◆ローソクに照らされた白い紙と、蛍光灯照明下の白い紙では、実際には違う色なのですが、人間の眼には光に対する順応性があり、その光に慣れると同じ白に見えてしまいます。ところがカメラにはこの順応性がないため、ローソクの赤い光で照らされた白い紙は赤くうつってしまうのです。
- ◆そこで、白い紙はどんな光源下にあっても白くうつるように補正するのが白バランス調整です。
- ◆スチルカメラの場合は、フィルムの種類(デイライト/タングステン)やカラーバランスフィルターで補正しますが、ビデオカメラでは色温度変換フィルターや電氣的補正によって白バランスをとります。これがフィルタースイッチおよび白バランススイッチの役割です。

■フィルタースイッチは、あらかじめ設定された色温度を撮影場所の光源に合わせるスイッチです。撮影する前に必ずこのスイッチを合わせてください。

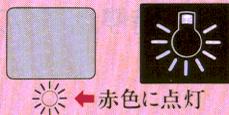
■白バランススイッチは、あらかじめ設定された一定の色温度で撮影する場合と、撮影場所の光源の色温度にそのつど正確に白バランス調整して撮る場合によって使い分けるスイッチです。



フィルタースイッチを
合わせる

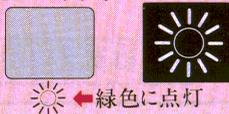
白バランススイッチを
合わせる

ビューファインダー



← 赤色に点灯

ビューファインダー



← 緑色に点灯

■白熱電球やハロゲンランプで照明されている場所での撮影

■太陽光に照らされている場所での撮影

標準

白熱電球やハロゲンランプで照明されている場所や、晴れの日の日中など、色温度があらかじめ設定された色温度に近い場合

設定

蛍光灯、カクテル照明、曇天、雨天、冬の午後など、色温度が想定できない場合や、微妙な色温度を正確に合わせたい場合

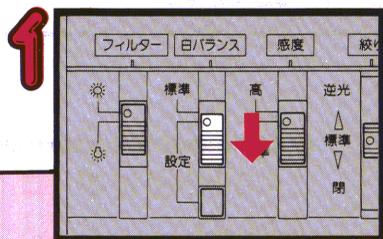
“設定”の位置
でとるときは
次の操作をする

白バランスをとってから3時間以内の場合は、前に合わせた白バランスを記憶していますので点滅しません。

点滅する

点滅する

点灯にかわる



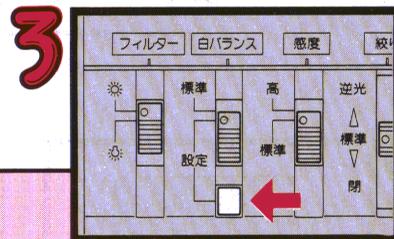
白バランススイッチを
設定にする

■暗いところでは白バランスはとれませんので、「標準」で撮影してください。



被写体およびその周辺の無彩色部分（白や灰色の紙、服、壁など）にレンズを向け

ズームアップする



白バランスセットボタンを
押す

白バランスは本機の電源を「切」にしても3時間までは記憶しています。ボタンを押しても左上の白い四角の点滅が点灯にかわらないときは、白バランスがとれないので「標準」にして撮影する

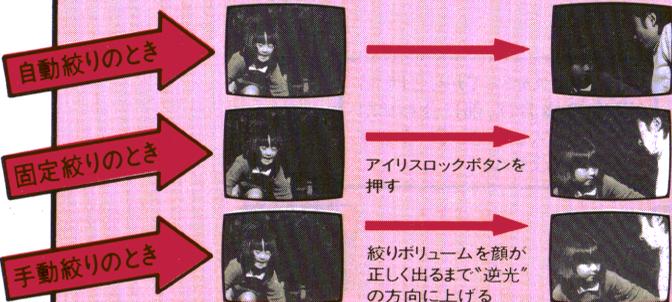
ご注意

- 白バランス調整してから次の撮影までに3時間以上経過しているとき、また、まったく撮影場所が変わったときは、再度白バランスをとりなおしてください。
- 撮影途中で感度アップしたときは、白バランスをとりなおしてください。

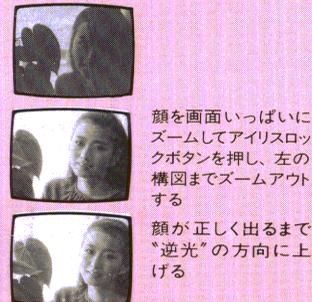
絞りについて

本機は自動絞り機構により、被写体の明るさが変化しても絞りが適正になるよう自動調整されます。また、一定の絞り値に固定したり、手動で可変することもできます。

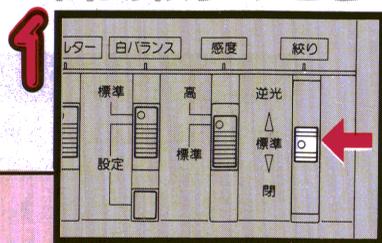
白いものが入ってくる時



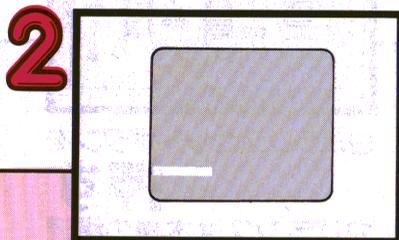
逆光時



自動絞りのとき

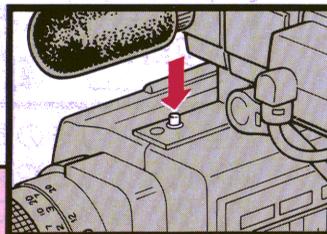


絞りボリュームを
標準にする



電子ビューファインダー内の白線が下にあるときは
光量不足
感度アップスイッチを“高”にするか照明をして、撮影する

固定絞りについて



アイリスロックボタンを
押す

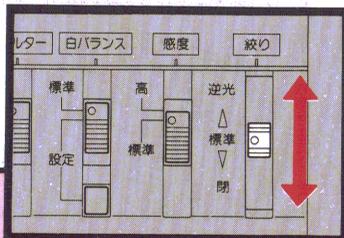
(押し続けている間だけ押しただきの絞り値に固定される)
離すと再び自動絞りとなる

こんなとき固定絞りにするとよい

- 逆光で人物を撮るとき
- ズームアウトして空が入ってくる時
- 明部と暗部が交互にくるパンニングのとき
- やや暗い所で白いものが画面に出たり入ったりするとき

微妙な絞り値の調整をしたいときや、意図的に明るくしたり暗くしたりして撮りたいとき、絞りボリュームで調整します。

手動絞りについて



絞りボリュームを“閉”の方向へ下げていくと露出不足となる
(完全に“閉”まで可変できる)
“逆光”の方向へ上げると画面は露出オーバーとなる
(標準の絞り値に対し約2絞り分まで露出オーバーとなる)

手動絞りの目やす

電子ビューファインダー画像の状態で絞りぐあいを判断してください。

露出
オーバー

(絞り開けすぎ)



適正
露出



露出
アンダー

(絞り込みすぎ)



絞りボリュームは フェーダーにもなる

●絞りボリュームを“標準”から徐々に“閉”まで下げていくとフェードアウト効果が得られる。



●“閉”から徐々に“標準”まで上げていくとフェードイン効果が得られる。

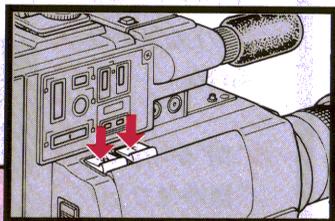
フェードアウト

フェードイン

ピントの合わせかた

正確なピント合わせの基本は、望遠側へ被写体をズームアップしてからピント合わせをして、撮りたい画角に合わせてください。

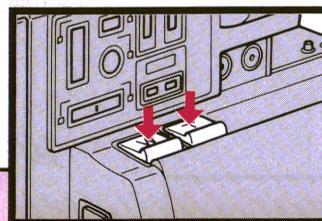
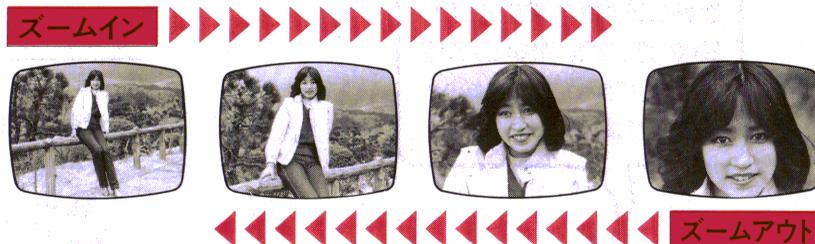
広角側でピントを合わせてからズームアップすると、望遠側はピントの合う幅が狭くなるためピンボケをおこします。



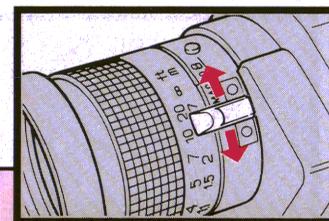
パワーズームスイッチの**T**を押し被写体を
ズームアップする
フォーカスリングをまわしピントを
合わせる
パワーズームスイッチの**W**を押し希望の大きさまで
ズームアウトする

ズーミングについて

本機には6倍電動ズームレンズが装着されています。パワーズームスイッチ**T**と**W**を押すと、自動的にズームイン・ズームアウトできます。また、ズームリングを回すと手動でズーミングできます。



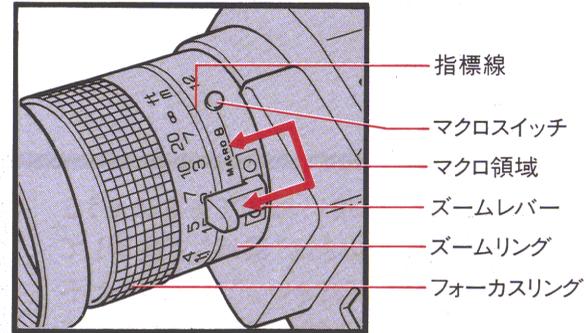
パワーズームのとき
Tを押すと
ズームイン
Wを押すと
ズームアウト



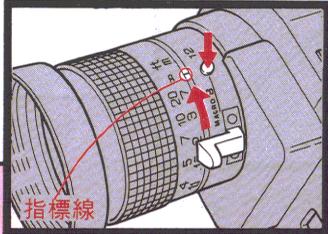
手動ズームのとき
ズームレバーを下にまわすと
ズームイン
ズームレバーを上まわすと
ズームアウト

マクロ機構とは?

通常の状態では、カメラから被写体まで最低1.1m以上離れないとピントを合わせることができませんが、レンズをマクロ領域に設定すると、レンズ直前から無限大の被写体まで手動ピントを合わせることができます。これがマクロ機構です。接写から徐々に遠くの被写体まで連続してピントを合わせていく撮影など、変化にとんだカメラワークがお楽しみいただけます。



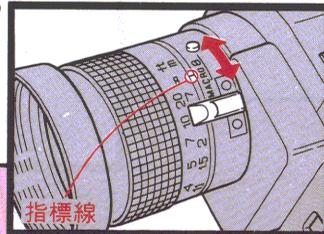
1 マクロ領域に入れる



マクロスイッチを押したままMACROの“O”の字が指標線を越えるまでズームリングを矢印の方向へ

まわす

2 ピントを合わせる

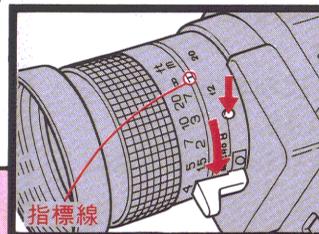


ズームリングを静かにまわし

ピントを合わせる

- マクロ領域でのピント合わせはズームリングを使います。
- フォーカスリングをまわすと画面サイズが若干かわります。

3 マクロ領域解除

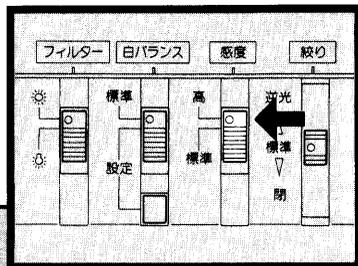
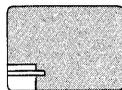


通常の撮影に戻すときは、マクロスイッチを押したままマクロスイッチが指標線を越えるまでズームリングを矢印の方向へ

まわす

感度アップスイッチについて

感度アップスイッチは、電子ビューファインダー内の白線が下に位置したまま中央へ戻らないような暗い場所での撮影のとき、電氣的に感度をあげて、明るく撮影するためのスイッチです。



光量不足のとき感度アップ
スイッチを

“高”にする

“高”にするとビューファインダーの左下に白い四角が表示される

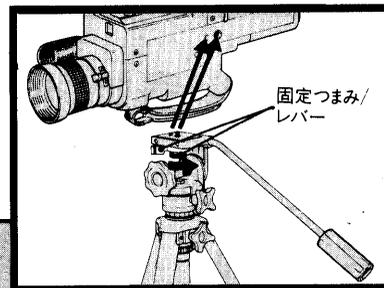
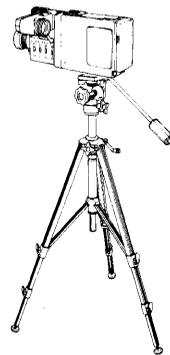
暗い場所でも次のようなときは“標準”で撮影してください。“高”にすると不自然な画像になります。

- 夕日の沈む情景など、だんだん暗くなっていく状態を撮るとき。
- 暗いところはそのまま暗く表現したいとき。
- 花火やネオンサインを撮るとき。

ご注意

- 感度アップ時は画質・色再現性が標準時よりやや劣りますので、通常は“標準”で撮影することをおすすめします。

(別売) 三脚への取り付けかた

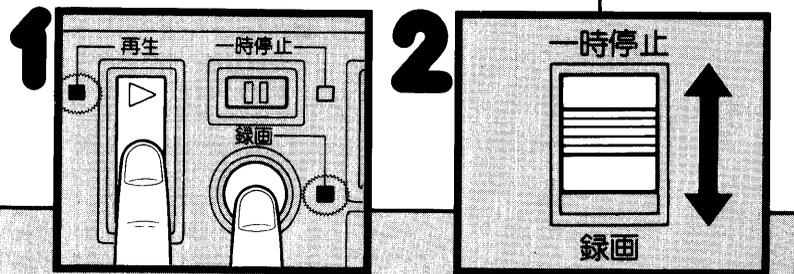
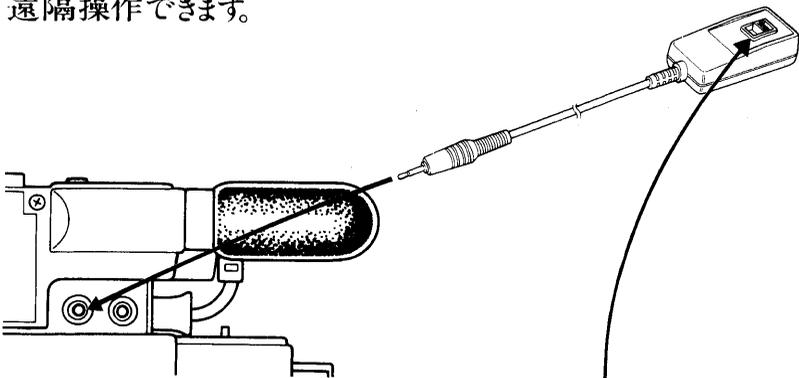


本機と三脚の回転ストッパーおよび取付けネジを合わせ、三脚の固定つまみ/レバーを矢印の方向にまわして締めつける。

(別売)

カメラリモコンについて

別売のリモコンRM-P1を接続して、録画のスタート/ストップを遠隔操作できます。



録画ボタンを押したまま再生ボタンを

押し

スタンバイ状態にする

録画をスタートするときは「録画」側に

する

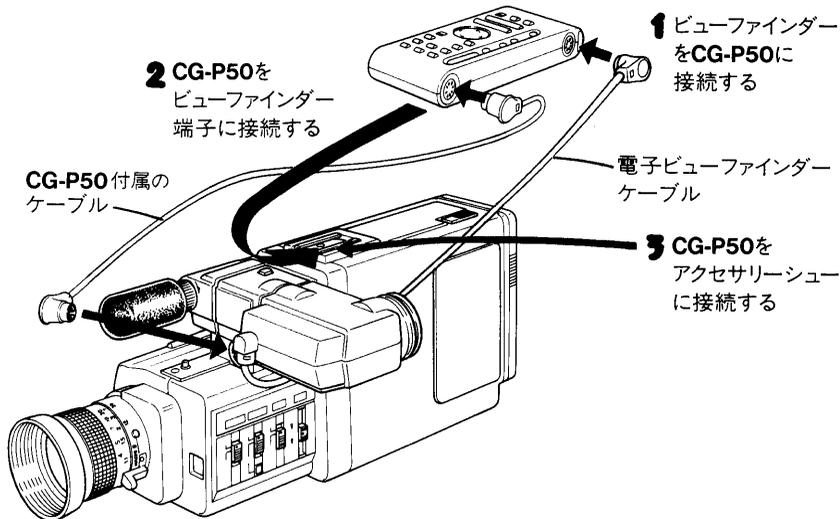
録画を一時中断するときは「一時停止」側に

する

(別売)

キャラクタージェネレーターについて

本機に別売のキャラクタージェネレーターCG-P50を接続すれば、タイトル、日付、ラップタイムなどがワンタッチでインサートできます。



1 ビューファインダーをCG-P50に接続する

2 CG-P50をビューファインダー端子に接続する

電子ビューファインダーケーブル

CG-P50付属のケーブル

3 CG-P50をアクセサリースューに接続する

日付、タイトル、ラップタイムは自由に組み合わせてインサートできます。ラップタイムは1/100秒まで表示。標準タイトルは最大60字(5行×12文字)まで、4段階のサイズ(小→中→大→特大)でディスプレイ。他にも、文字が上下に流れるスクロールタイトル、センター・コーナースームタイトルなど14種類のタイトルが46種類のキャラクター(アルファベット(26)/数字(10)/記号(10))を使って簡単にインサートできます。

■CG-P50はビクタービデオカメラ専用です。他のカメラには使用できません。

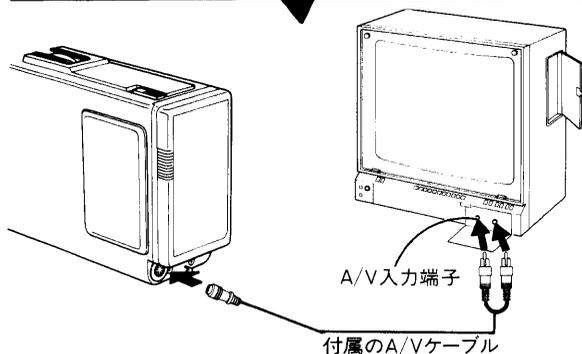
(くわしくはCG-P50の「ご愛用のしおり」をご覧ください。)

カラーテレビとの接続(A/V入力端子付テレビとの接続)(ダビング時の接続)

本機には再生機能があります。テレビに接続すると録画済みカセットテープの再生ができます。A/V入力端子のないテレビで再生するときは、別売のRFユニットRF-P1をご使用ください。

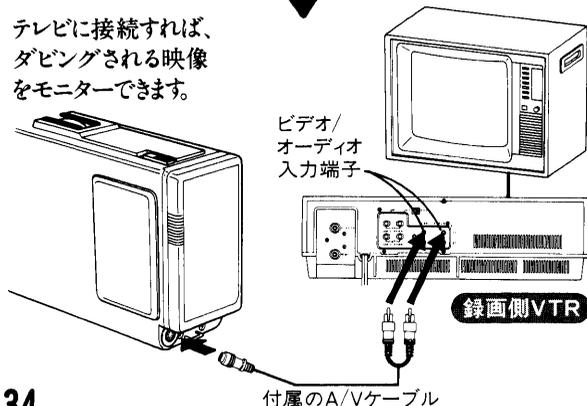
■付属のA/Vケーブルは、別売のAV延長ケーブルVC-P1(5m)で延長できます。

A/V入力端子付テレビとの接続

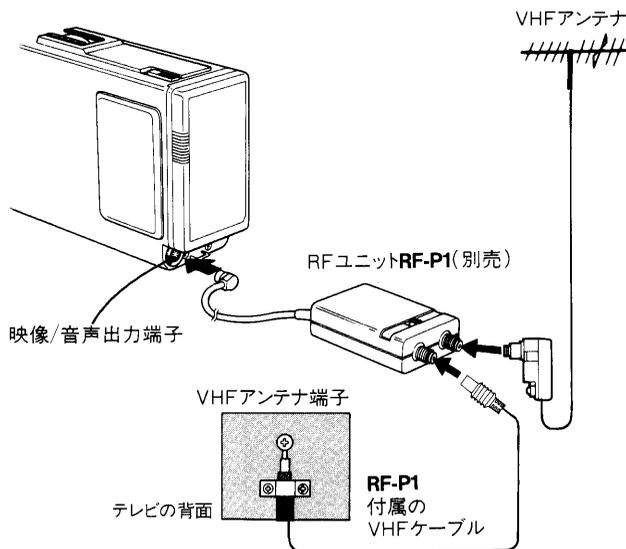


ダビング時の接続

テレビに接続すれば、ダビングされる映像をモニターできます。



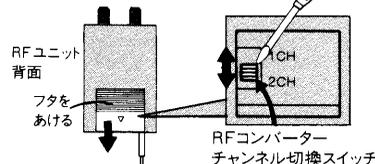
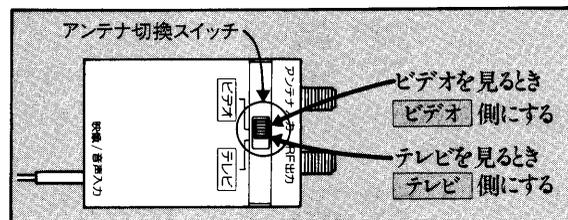
A/V入力端子のないテレビとの接続



RFユニットのRFコンバーターチャンネルを(1)か(2)にする

■RFコンバーターとは、ビデオカセットに録画される信号(映像と音声)やビデオカセットから再生される信号をテレビ放送の電波と同じ信号に変える装置です。このRFコンバーターでつくられた電波は、放送されていない空チャンネル(東京は2チャンネル、大阪は1チャンネル)を利用してテレビに映しだされます。工場出荷時は2チャンネルに合わせてあります。

■2チャンネルに放送局がある地域は、1チャンネルにRFコンバーターを合わせます。



2 (1~12チャンネル専用)
テレビのVHFアンテナ端子に接続してあるケーブルをはずす

3 はずしたVHFケーブルを付属のアンテナ変換器に接続する

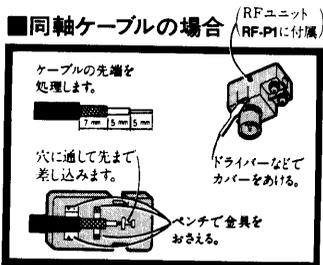
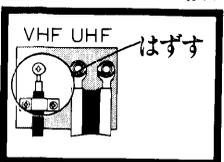
4 アンテナ変換器をRFユニットのアンテナ入力端子に接続する

5 RFユニットとカラーテレビをRF-P1付属のVHFケーブルでつなぐ

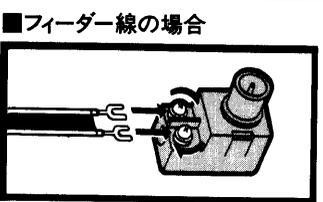
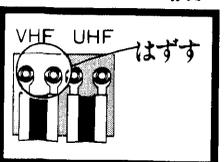
6 RFユニットを本機に接続する

UHFアンテナケーブルははずさないでください。

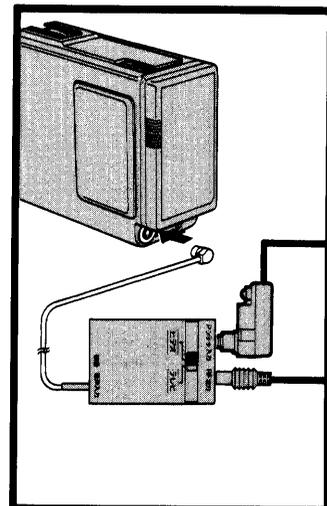
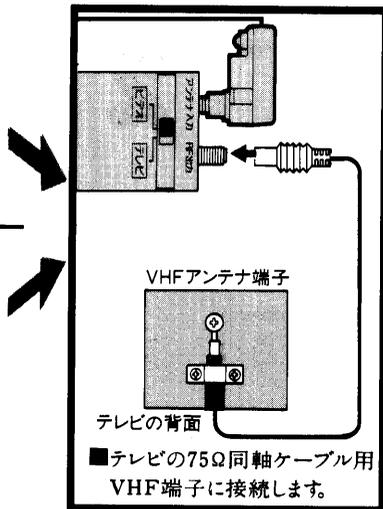
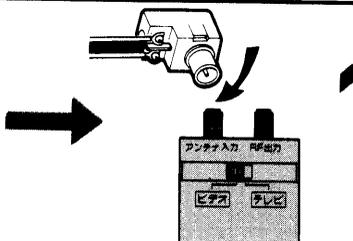
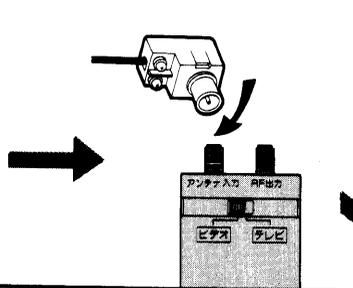
■同軸ケーブルの場合



■フィーダー線の場合



テレビによってはVHFアンテナ端子の位置がちがいます。テレビの背面をよく確かめてください。



再生のしかた

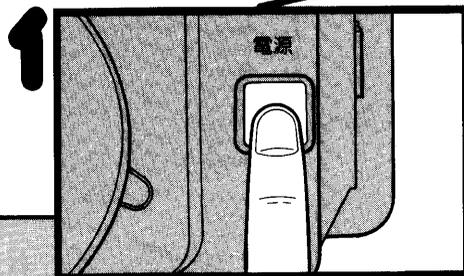
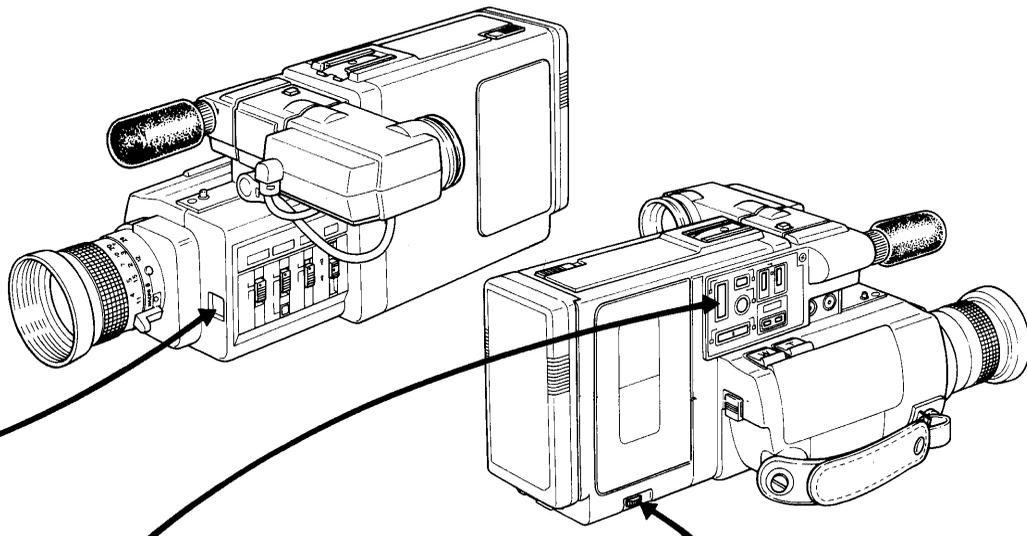
本機は録画されたテープを再生することができます。(テレビとの接続は34～35ページをご覧ください。)

準備

A/V入力端子付
テレビのときはテ
レビのビデオ/テ
レビボタンをビデオにする

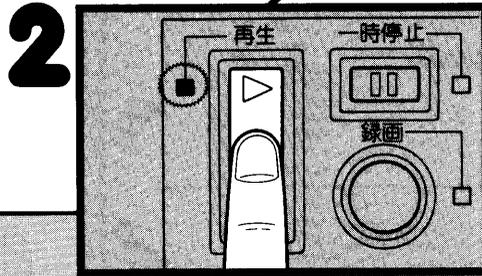
一般のテレビのときは

- RFユニットのアンテナ切換スイッチを"ビデオ"にする
- テレビのチャンネルをRFユニットと同じチャンネル(1)か(2)にする



電源ユニットを取りつけてから
電源スイッチを
入れる

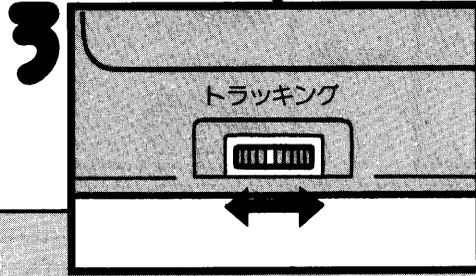
(電源ユニットについては12ページをご覧ください)



再生ボタンを **押す**

これで再生ができます

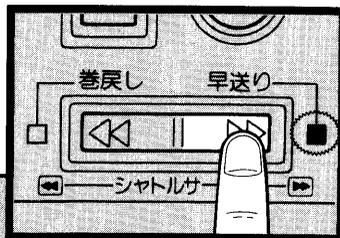
テープを最後まで再生すると自動的にテープを巻戻します。



再生中、画面の一部に
ノイズがでるときは、
トラッキングつまみを
左または右にゆっくり
まわして、ノイズがなくなるように調整
する。(通常はつまみの白線を中央に合わせておいてください)

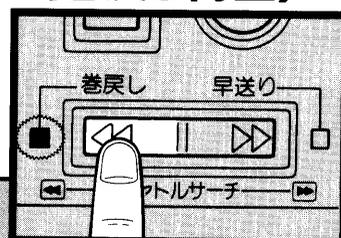


■ シャトルサーチ (早送り再生)



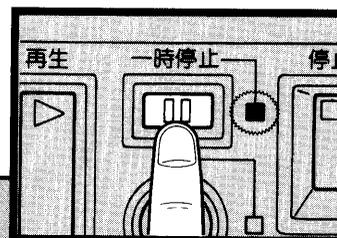
再生中に早送りボタンを
押す
(押している間だけ約3倍
速で早送り再生します)

■ シャトルサーチ (巻戻し再生)



再生中に巻戻しボタンを
押す
(押している間だけ約3倍
速で巻戻し再生します)

■ 簡易静止画再生



再生中に一時停止ボタンを
押す

簡易静止画再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。

ご注意

- シャトルサーチ、簡易静止画再生中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- シャトルサーチから通常の再生に戻るとき、数秒間画面にノイズが出ることがあります。

こんなときは

本機が正常に働かないときには、まず次の点をお確かめください。
調べても正しく作動しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんな時は本機から電源ユニット（バッテリーパックやACパワーアダプターなど）を一度取りはずしてから、あらためてご使用ください。

症状	処置	巻一野
本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ユニットは正しく接続されていますか。 ●バッテリーパックは充電されていますか。 	12 18 19
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットのツメ(消去防止用)はついていますか。ツメのついていないカセットには、録画・録音できません。ツメの部分にセロハンテープを貼ってください。 	7
早送り・巻戻し中に途中でテープがストップする	<ul style="list-style-type: none"> ●カウンターメモリーになっていませんか。メモリーボタンを一度押してください。 	17
テープはまわっているが、再生しない	<ul style="list-style-type: none"> ●RFユニットを“ビデオ”にしていますか。 ●テレビのチャンネルかビデオ専用チャンネル(1)か(2)になっていますか。 ●A/V端子付テレビの場合は、テレビ/ビデオボタンを“ビデオ”にする。 	34 35 36
再生画面の一部にノイズがでる	<ul style="list-style-type: none"> ●トラッキングつまみを調整してください。 	36
再生・巻戻し・早送りができない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットが早送り・巻戻しを完了していませんか。 	16
テレビはきれいに映るが、カセットを再生するとザラザラな画面になったり、消えてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオヘッドが目づまり、または摩耗しています。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。 	.

症状	処置	巻一野
実際の色と再生画像の色が極端に違う	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルタースイッチを光源の種類にあわせましたか。 ●白バランススイッチが“設定”の状態では撮影場所を移動したり、3時間以上経過していませんか。 ●カクテル照明や曇天、雨天などで色温度の見当がつかないとき、白バランスを“標準”で撮りませんでしたか。 	26 27
白バランスがとれない	<ul style="list-style-type: none"> ●白バランス調整をするとき、赤や緑など、色のついたものに向けて行ないませんでしたか。 ●フィルタースイッチを光源の種類にあわせましたか。 ●ビューファインダー内の白線が下にあるような暗い場所で、白バランス調整をしませんでしたか。 	26 27
画面が白くとんだり(ハレーション)黒くつぶれたりする	<ul style="list-style-type: none"> ●絞りボリュームが正しい位置にありますか。 ●アイリスロックボタンを押し放しにしませんか。 	28
外部マイクを使うと音声が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●マイクのスイッチが“切”になっていませんか。 	.
ビューファインダー内の白線が短くなったのに、録画されない	<ul style="list-style-type: none"> ●録画ボタンと再生ボタンを押しましたか。録画ボタンだけを押ししても録画はされません。 	20
操作ランプが2つ以上点灯して本機が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ユニットの電源スイッチを「入」「切」してください。バッテリーパック使用時は充電済みバッテリーパックと交換してください。 	.

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社は、このビデオムービーの補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年保有しています。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ビデオムービーは、映像信号や音声信号を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには使用環境(温度、湿度、ホコリ)等に左右されますが、およそ1,000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめいたします。くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

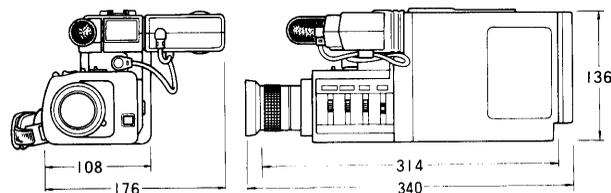
修理を依頼されるときは

- 1 まず38ページの“こんなときは”の項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。
- 2 それでも具合の悪いときは、お買い上げ販売店もしくはお近くのビクターサービス窓口に保証書を添えてお持ちください。

仕 様

- 種 類：ビデオムービー
- 電 源：DC9.6V
- 消 費 電 力：7.6W
- 信 号 方 式：NTSC日米標準信号
- 録 画 方 式：輝度信号FM方式 色信号低域変換直接記録方式
VHS規格
- 使用カセット：**VHS**カセット
- テ ー プ 速 度：33.4mm/sec
- 録 画 時 間：最大20分(**VHS**カセットTC-20SHGにて)
- 映 像 出 力：1Vp-p(75Ω不平衡)
- 音 声 出 力：-6dBs(1KΩ以下) } 専用映像/音声出力端子にて
- マ イ ク 入 力：-68dBs(10KΩ不平衡)
- 撮 像 管：単一搬送波周波数分離方式
½吋ハイバンドサチコン
- 必要最低照度：15ルクス(F1.2感度“高”時)
- 被写体照度範囲：15~10万ルクス(感度“高”時自動絞りにて)
- レ ン ズ：F=1.2 f=8~48mm 6倍電動ズームレンズ
自動絞り・マクロ機構付/フィルター口径49mm
- ビューファインダー：電子ビューファインダー(½型・白黒ブラウン管)
- 色 温 度 切 換：カラーバランスフィルター切換式 3200°K/5200°K
- 白バランス調整：オートホワイト(設定)/プリセット(標準)
- 許容動作温度：0°C~+40°C
- 許容動作湿度：80%以下
- 許容保存温度：-20°C~+50°C
- 重 量 (本体)：1.9kg(電子ビューファインダー付)

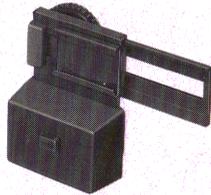
- 外 形 寸 法：(幅)108×(高さ)136×(奥行)314mm
(電子ビューファインダー、レンズフード除く)
(幅)176×(高さ)136×(奥行)340mm
(電子ビューファインダー、レンズフード、NB-P5装着時)
- 付 属 品：ハンドル×1
AVケーブル×1
専用マイク×1



※サチコンは登録商標です。
※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

関連商品のご紹介

40~41

<p>●バッテリーパック NB-P5 ¥5,000 NB-P6 ¥8,000</p> 	<p>●バッテリーチャージャー BB-P1 ¥18,000</p> 	<p>●AV延長ケーブル VC-P1 ¥2,500</p> 	<p>●キャラクター ジェネレーター CG-P50 ¥19,800</p> 	<p>●ビデオライト VL-C15 (150W) ¥12,000 VL-P33 (300W) ¥12,800</p> 	<p>●ビューファインダー アダプター LA-P1 ¥3,000</p> 
<p>●カーバッテリーコード AP-P1 ¥7,000</p> 	<p>●RFユニット RF-P1 ¥10,000</p> 	<p>●カメラリモコン RM-P1 ¥1,000</p> 	<p>●キャリングケース CB-P1 ¥20,000</p> 	<p>●ショルダーフレーム (ベルト付) SF-P1 ¥5,000</p> 	<p>●ムービーキャリングケース CB-P20 BK(黒)/WT(白) ¥6,500</p> 
<p>●ACパワーアダプター AA-P1 ¥19,500</p> 	<p>●VHS_C コンパクトテープ TC-20SHG ¥1,900 TC-20TRI ¥5,400 (3巻パック)</p> 	<p>●VHS_C カセットアダプター C-P2 ¥9,000 C-P3 ¥10,000 (電動式)</p> 	<p>●簡易テレビネ TA-P55 ¥19,800</p> 	<p>●三脚 TP-P8 ¥25,000 TP-P4 ¥16,800</p> <p>●ドリ DL-P8 ¥18,500</p> 	<p>●ムービーキャリングケース CB-P20 BK(黒)/WT(白) ¥6,500</p> 



日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

所在地 〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111(代表)

お問合せ先

ビクターインフォメーションセンター

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号 電話 (03)580-2861

お近くのビクタービデオセンターVICにお立寄りください。

ビクタービデオセンターVIC札幌	011-271-9360(直)	〒060 札幌市中央区北3条西1-1-7
ビクタービデオセンターVIC青森	0177-77-8315(直)	〒030 青森市大字浦町字奥野68-1
ビクタービデオセンターVIC仙台	0222-25-6798(直)	〒980 仙台市本町1-11-12
ビクタービデオセンターVIC東京	03-580-4264(直)	〒100 東京都千代田区霞が関3-2-4(霞山ビル)
ビクタービデオセンターVIC千葉	0472-44-9740(直)	〒260 千葉市幸町2-1-1
ビクタービデオセンターVIC宇都宮	0286-33-9896(直)	〒320 宇都宮市住吉町17-9
ビクタービデオセンターVIC新潟	0252-41-6941(直)	〒950 新潟市明石1-2-19
ビクタービデオセンターVIC信州	0263-27-0961(直)	〒390 松本市鎌田5111
ビクタービデオセンターVIC横浜	045-641-9837(直)	〒231 横浜市中区翁町1-3-1
ビクタービデオセンターVIC静岡	0542-81-7697(直)	〒422 静岡市曲金6-5-28
ビクタービデオセンターVIC名古屋	052-775-4481(直)	〒465 名古屋市名東区社台3-9
ビクタービデオセンターVIC金沢	0762-23-6816(直)	〒920 金沢市長土堀2-1-27
ビクタービデオセンターVIC京都	075-313-2106(直)	〒600 京都市下京区西大路通七条下ル御所の内北町91
ビクタービデオセンターVIC大阪	06-768-0747(直)	〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16
ビクタービデオセンターVIC神戸	078-232-3028(直)	〒651 神戸市中央区磯上通3-2-16
ビクタービデオセンターVIC広島	082-249-2538(直)	〒730 広島市中区東平塚町3-26
ビクタービデオセンターVIC松山	0899-22-3032(直)	〒790 松山市中央1-401-2
ビクタービデオセンターVIC福岡	092-473-7843(直)	〒812 福岡市博多区博多駅前4-16-1
ビクタービデオセンターVIC熊本	096-356-9599(直)	〒860 熊本市本山町655